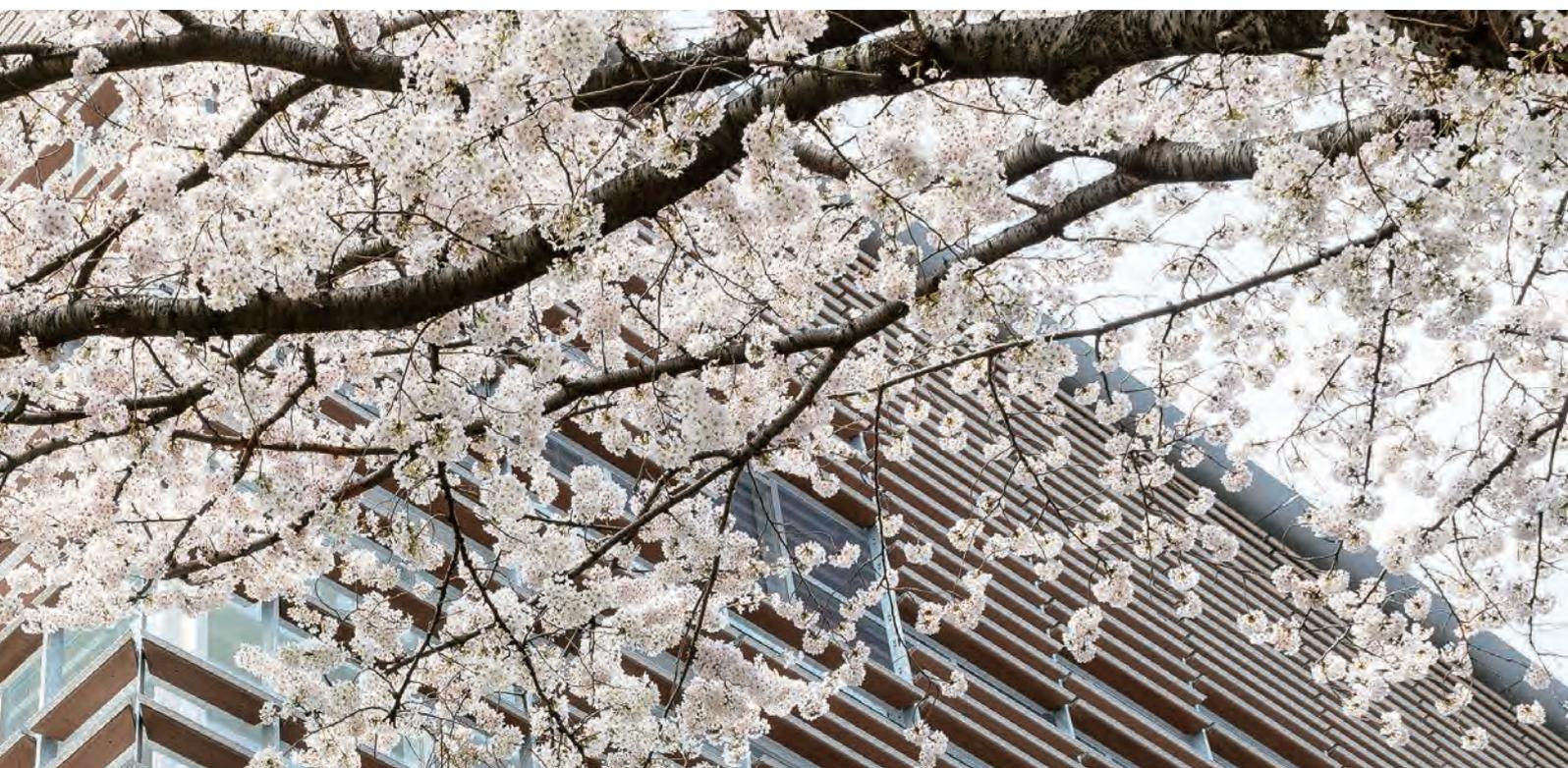




# 資料編

## CAMPUS MASTER PLAN 千葉大学キャンパスマスタープラン • 2022



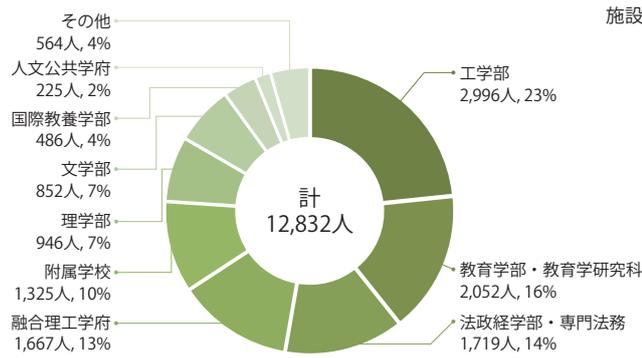
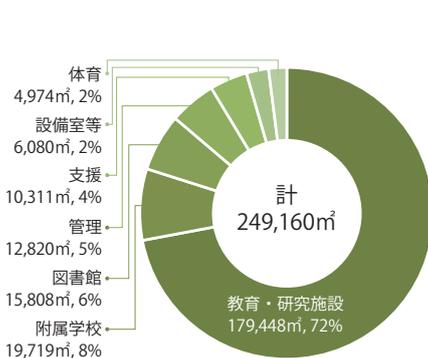
西千葉キャンパス  
Nishi Chiba Campus

現状と課題

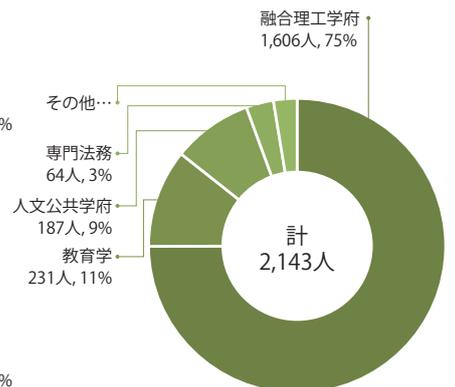
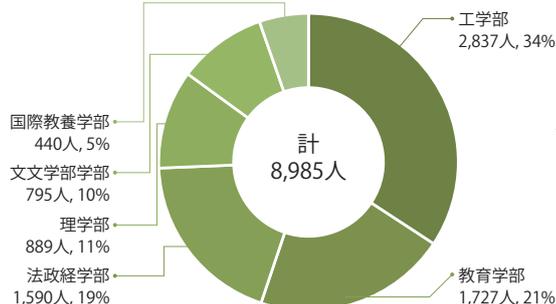
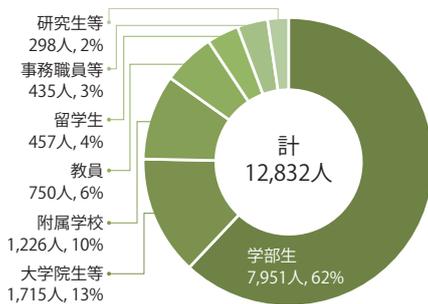
# 西千葉キャンパス概要



所在地	千葉市稲毛区弥生町 1-33
設置年度	昭和 37 年
建築面積	76,856 m <sup>2</sup>
延床面積	249,160 m <sup>2</sup>
敷地面積	380,958 m <sup>2</sup>
棟数	168 棟
学部	国際教養学部・文学部・法政経学部・教育学部・理学部・工学部
大学院	人文公共学府・専門法務研究科・教育学研究科・融合理工学府・人文科学研究院・社会科学研究院・理学研究院・工学研究院・国際学術研究院
センター等	環境リモートセンシング研究センター・アカデミック・リンク・センター・共用機器センター・統合情報センター・先進科学センター・分子キラリティー研究センター・フロンティア医工学センター・学術研究・イノベーション推進機構・アイソトープ実験施設・附属次世代モビリティパワースource研究センター・国際教育センター・附属教員養成開発センター・附属幼稚園・附属小学校・附属中学校・附属創造工学センター・附属図書館・グローバル関係融合研究センター・附属ハドロン宇宙国際研究センター・附属創造工学センター



施設面積：施設実態報告面積等集計表 (R3.5.1)  
 施設環境部  
 構成員：大学概要データ (R3.5.1)  
 留学生データ (R3.5.1) ヒアリング  
 (附属学校関係)



# 01-1 周辺地域・土地利用



キャンパス周辺マップ

## ■ CMP2017 からの変化

- 東大生産技術研究所西千葉実験所跡地の一部編入

## ■ 現状・課題

- JR 西千葉駅直近に南門があり、最も利用人数の多い門となっている。キャンパスに隣接する東大生産技術研究所が移転予定である。
- 東大生産研の跡地（予定）がキャンパスの発展に影響を及ぼす可能性がある。
- 市道拡幅は概ね終了しているが、西側の歩道の幅員が狭く、通行しづらい。
- 学園通り（正門～みどり台駅）の街路整備が市の政策課題
- 弥生小学校の一部を附属幼稚園敷地として利用するための検討
- 西千葉駅前広場から南門への歩道が狭く、朝の通学時に人があふれる。

## ■ 検討の方向

- ゾーニング計画に反映
- 隣接地を含めた将来計画
- 西千葉駅から南門の一体的な整備



① キャンパス西側歩道整備



② 学園通り

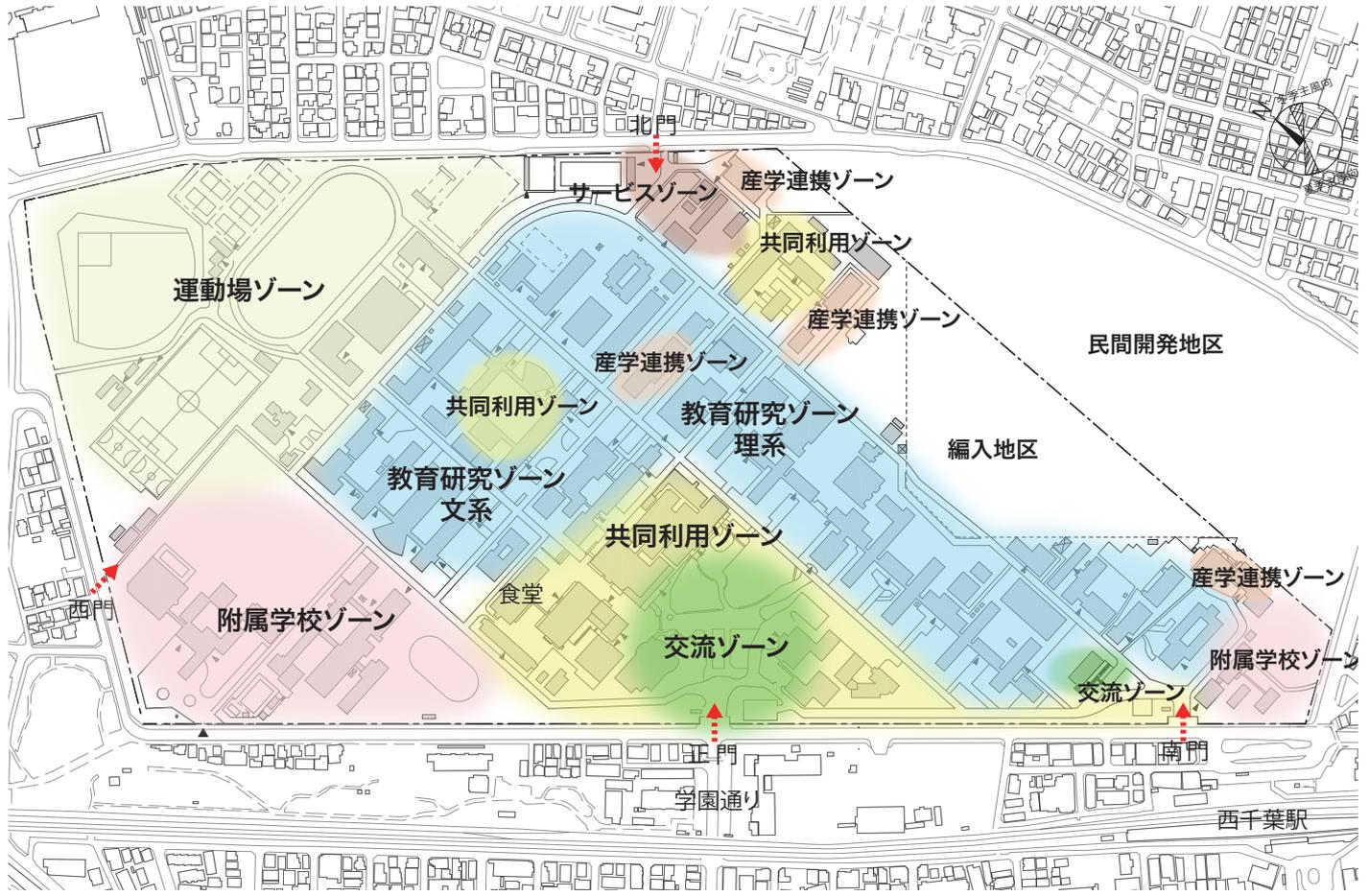


③ 弥生小学校



④ 南門周辺

# 01-2 機能別ゾーン



現況ゾーンマップ

## ■ CMP2017 からの変化

- ・マスタープラン 2017 での検討事項であった正門前ゾーンに関して、交流ゾーンとして位置づけた。

## ■ 現状・課題

西千葉キャンパスは、教育研究、産学連携、附属学校、共同利用・地域交流、住居、運動場、緑地の機能別ゾーンが混在している。

- ・産学連携、知的財産機構、学術研究・イノベーション推進機構、サイエンスパークセンターなどの産官学連携施設があるが各施設が隔離している。
- ・全学共同利用スペースである総合校舎が教育研究ゾーンの深部にある。
- ・教育学部と附属幼稚園の隔たり。
- ・正門から南門にかけて、ゾーンの位置づけが明確になっていない。
- ・ゾーン間の連携が適切でない。

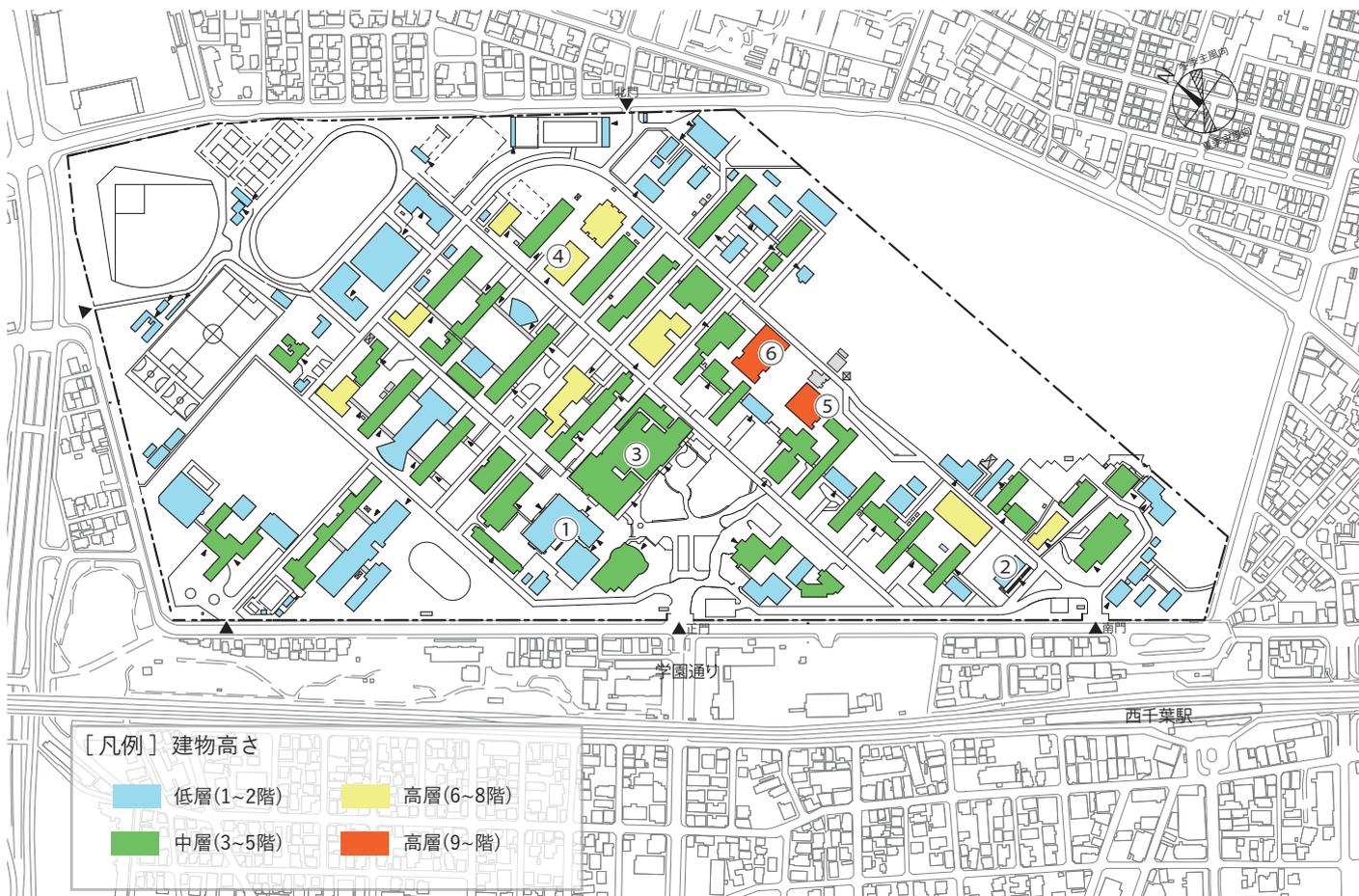
## ■ 検討の方向

- ・東大生産研跡地の取得に伴い、地域連携・産学連携を含めたゾーニング計画
- ・JR 西千葉駅～南門の一体整備

教育研究ゾーン	国際教養学部 文学部 法政経学部 教育学部 理学部 工学部 人文公共学府 専門法務研究科 教育学研究科 融合理工学府 人文科学研究院 社会科学研究院 理学研究院 工学研究院 先進科学センター フロンティア医工学センター 創造工学センター	附属学校ゾーン 附属幼稚園 附属小学校 附属中学校
		共同利用地域連携交流研究ゾーン 事務局 附属図書館本館 アカデミック・リンク・センター 総合安全衛生管理機構 国際教育センター 総合校舎 学内共同研究センター アイトーフ実験施設 統合情報センター けやき会館・松韻会館 厚生施設（総合学生支援センター・学生支援プラザ・大学会館） 文化系サークル会館
		住居ゾーン ゲストハウス
産学連携ゾーン	知識集約型共同研究拠点 次世代モビリティパワーソース研究センター ベンチャービジネスラボラトリー 産学連携研究推進ステーション サイエンスパークセンター	運動場・課外活動ゾーン 課外活動施設（野球場・サッカーコート・陸上競技場・テニスコート・多目的コート・体育館・武道場 他） 緑地ゾーン かたらいの森

(表) 機能別ゾーン一覧

# 01-3 建物デザイン・高さ



建物高さ分布図

施設環境部データ集より

## ■ CMP2017 からの変化

- 2017 年からの新築はない。
- 理学部5号棟改修 (2020 年)

## ■ 現状・課題

- キャンパス内の建物のほとんどが4~5階の中層であるが、6~8階の建物が9棟、9階以上の建物が2棟ある。
- 建物の色・デザインの調和がとれていない。

## ■ 検討の方向

- キャンパス全体の建物配置計画と合わせて、壁面線、建物高さ、スカイライン、外装色、材料に関するガイドラインの検討
- 高層棟への建替えによる建て詰まりの解消
- 将来の整備のために必要な空地の確保



① 総合学生支援センター (低層)



② 松韻会館 (低層)



③ アカデミックリンクセンター (中層)



④ 理学部5号棟 (高層)

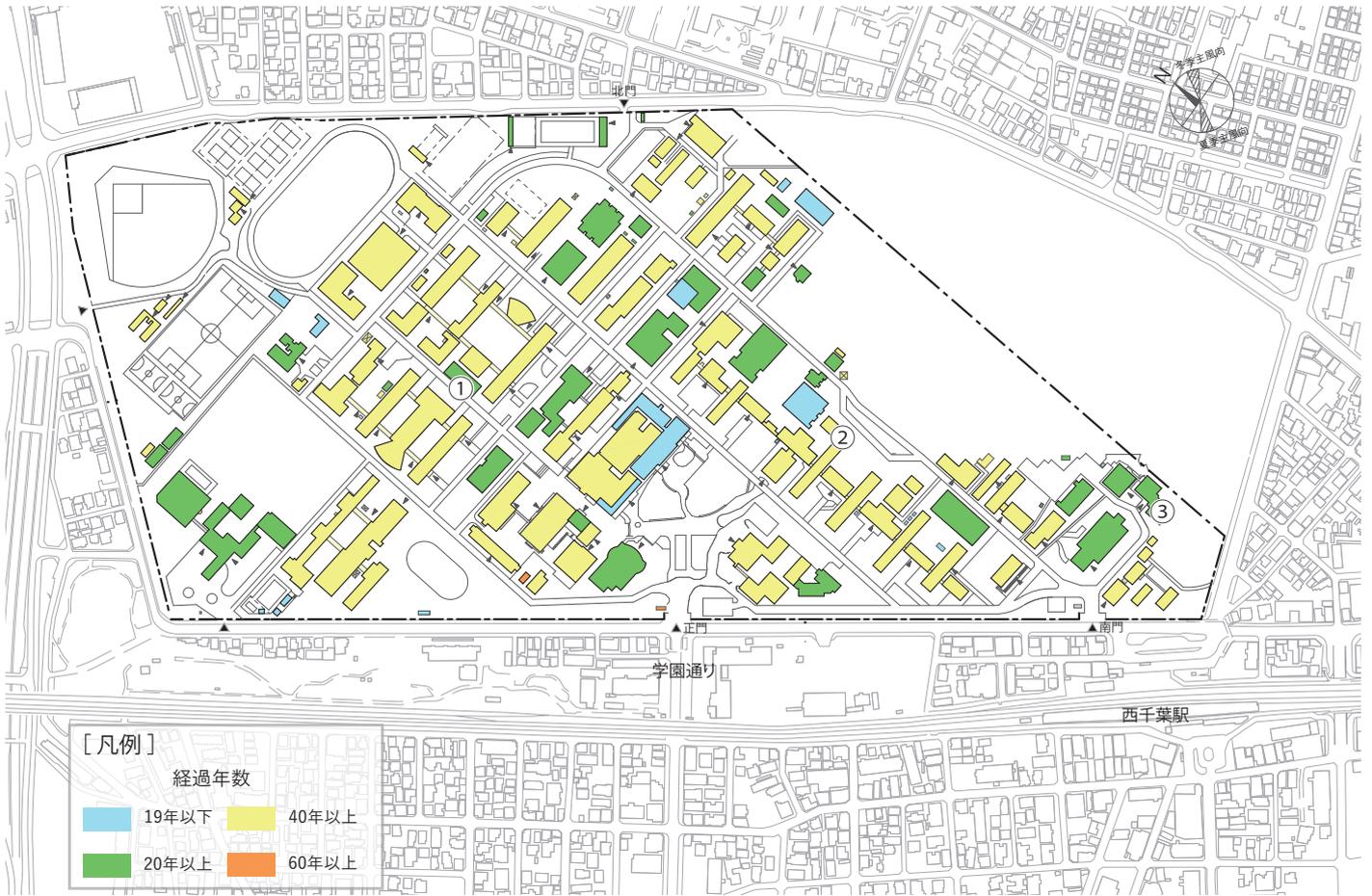


⑤ 工学系総合研究棟2 (高層)



⑥ 自然科学総合研究棟2 (高層)

# 01-4 建物老朽



建物経年別・機能改修状況別配置図

施設環境部データ集より

## ■ CMP2017 からの変化

- 2016年に全建物の耐震改修を完了
- IMO棟の機能改修
- 総合校舎8号館を国際教養学部棟に機能改修

## ■ 現状・課題

- 西千葉キャンパスにある建物 249,160 m<sup>2</sup>のうち、新耐震基準以前に完成した耐震改修対象保有面積は 137,832 m<sup>2</sup>で全体の 55.3%で、全ての建物が耐震改修済である。また、全面的な機能改修後 25 年以上経過し、改修検討が必要な面積は 11 棟 20,877 m<sup>2</sup>で工学部に集中している。
- 工学部校舎群は改修後 25 年が経過している。
- 附属幼稚園・第2体育施設・文学部・法政経学部 2 号館・工学部 2・20・21 号棟・学内共同研究センター・音楽共同練習室 A・B 棟・環境リモート施設棟が築 40 年を超え老朽化している。

## ■ 検討の方向

- 将来的な改修保全と建て替えの判定方法を検討し、個別施設計画に反映
- 共同利用施設や課外活動施設の整備手法
- 工学部等校舎群の再開発
- 長期修繕計画



① 国際教養学部棟

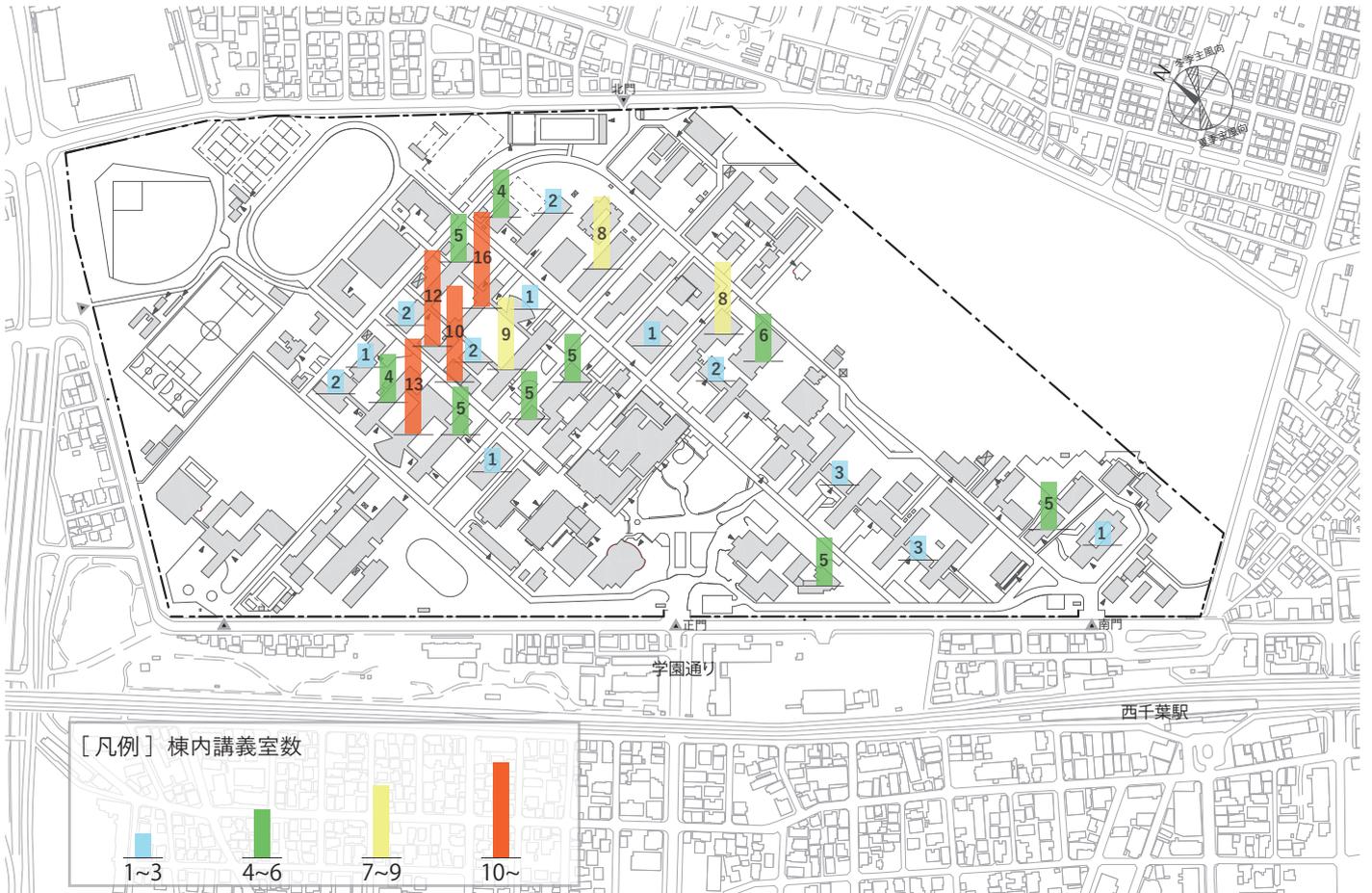


② 工学部 10 号棟



③ IMO 棟機能改修

# 01-5 講義室



講義室分布図

施設環境部資料より

## ■ CMP2017 からの変化

60%以上の稼働率をもつ面積割合  
33.8%(2019年)

- どのくらいの規模の室がどの程度の数必要かを確認のうえ見直しが必要

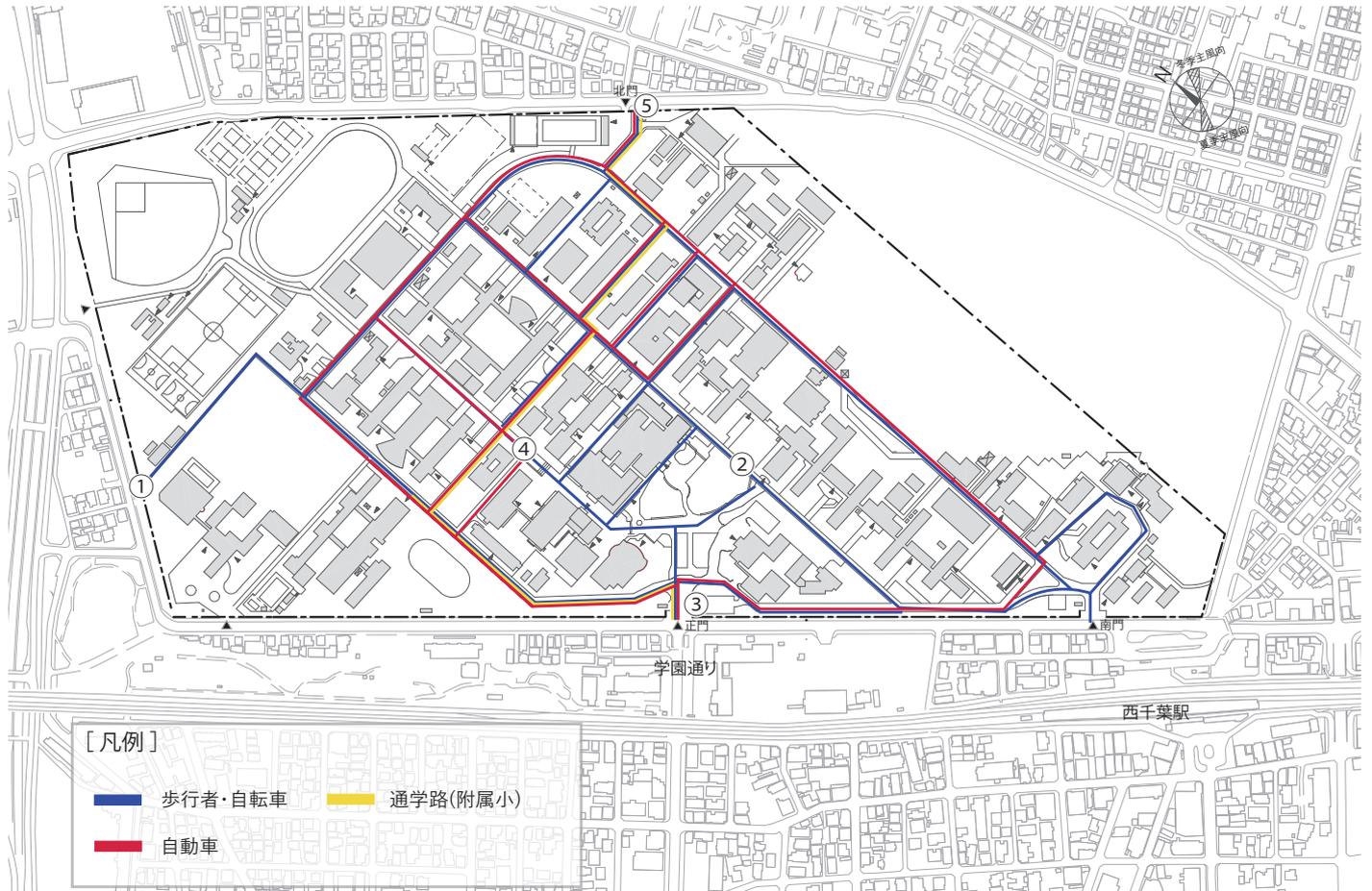
## ■ 現状・課題

- 全体で141室ある講義室は、114室が共通講義室となっている。共通講義室は総合校舎に概ね集約されており(43室)、残りは各学部が保有運営している。
- 稼働率については、60%以上の稼働率をもつ面積割合は講義室全体の33.8%である。
- 全学共同利用されるべき総合校舎がキャンパス中心部になく、正門や南門から遠いところにある。
- 総合校舎と工学部との距離が離れているため、授業間の移動に時間がかかり授業に支障が生じる可能性がある。
- 少人数教育用の演習室が不足している。
- 普遍教育において、カリキュラムを適切に組めば不足はないが、定員480名を超える学生が来る利用日もあり、規模に問題がある。

## ■ 検討の方向

- 低稼働率の講義室の有効活用と他用途転用
- 講義室等の部局、学科横断での共有等有効利用のさらなる推進
- 建物の配置計画とゾーニングに反映

# 02-1 交通動線



交通動線図

施設環境部データ集より

## ■ CMP2017 からの変化

- 2019年：やよい通りを車両通行禁止とし、自転車と歩行者の動線を分離して、歩車分離、交通動線の混雑を和らげた。

- 自転車と歩行者の通行分離
- 正門と南門の間に中間門

## ■ 現状・課題

- 西千葉キャンパスには7か所の門があり、自動車の進入は正門と北門に限られている。南門はJR西千葉駅に直近した門で教職員、学生の出入りが最も多い。
- 自動車が中心部にも乗り入れている。
- 歩行者、自動車、自転車の動線分離が十分に図られていない。交通事故も発生している。
- 南門で歩行者と自転車の動線が錯綜する。
- 構内に大型バスの停車スペースがない。



① 通用門



② やよい通り



③ 正門



④ けやき通り

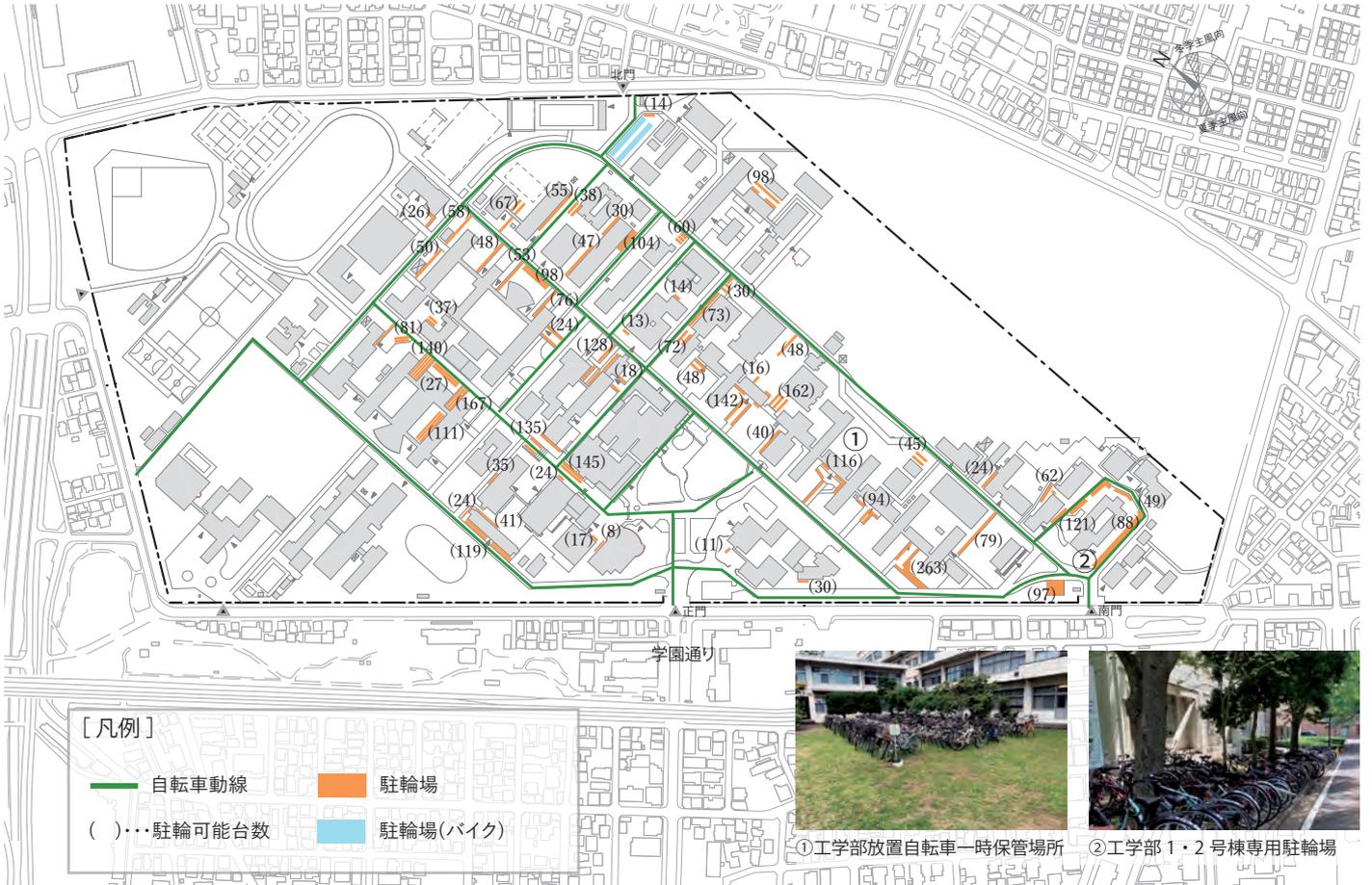


⑤ 北門

## ■ 検討の方向

- 歩車分離、交通ルートの見直し
- 自動車、自転車乗入禁止ゾーン

# 02-2 駐輪場



駐輪場分布図 施設環境部データ集より

## ■ CMP2017 からの変化

- ・2017年：交通環境改善経費を改訂し、年間の入講許可証(ステッカー)の料金の値上げを実施した。構内移動用自転車は、公用自転車等を除いて原則禁止とした。
- ・2019年：やよい通りを自動車進入禁止とし、歩行者レーンと自転車レーンを分離する歩車分離を実施した。

## ■ 現状・課題

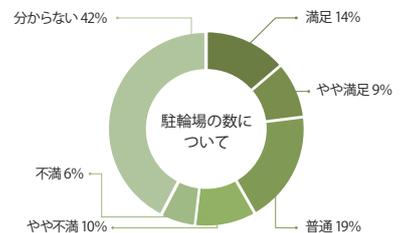
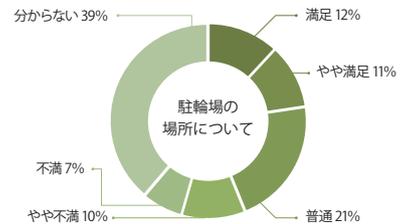
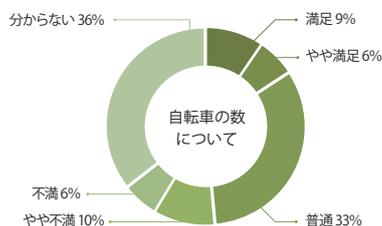
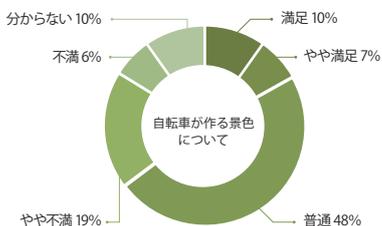
- ・西千葉キャンパスには計4,088台分の駐輪場があり、全体に分散配置されている。
- ・既存の駐輪スペースについて、塗装が消えかかっ

ている箇所がある。

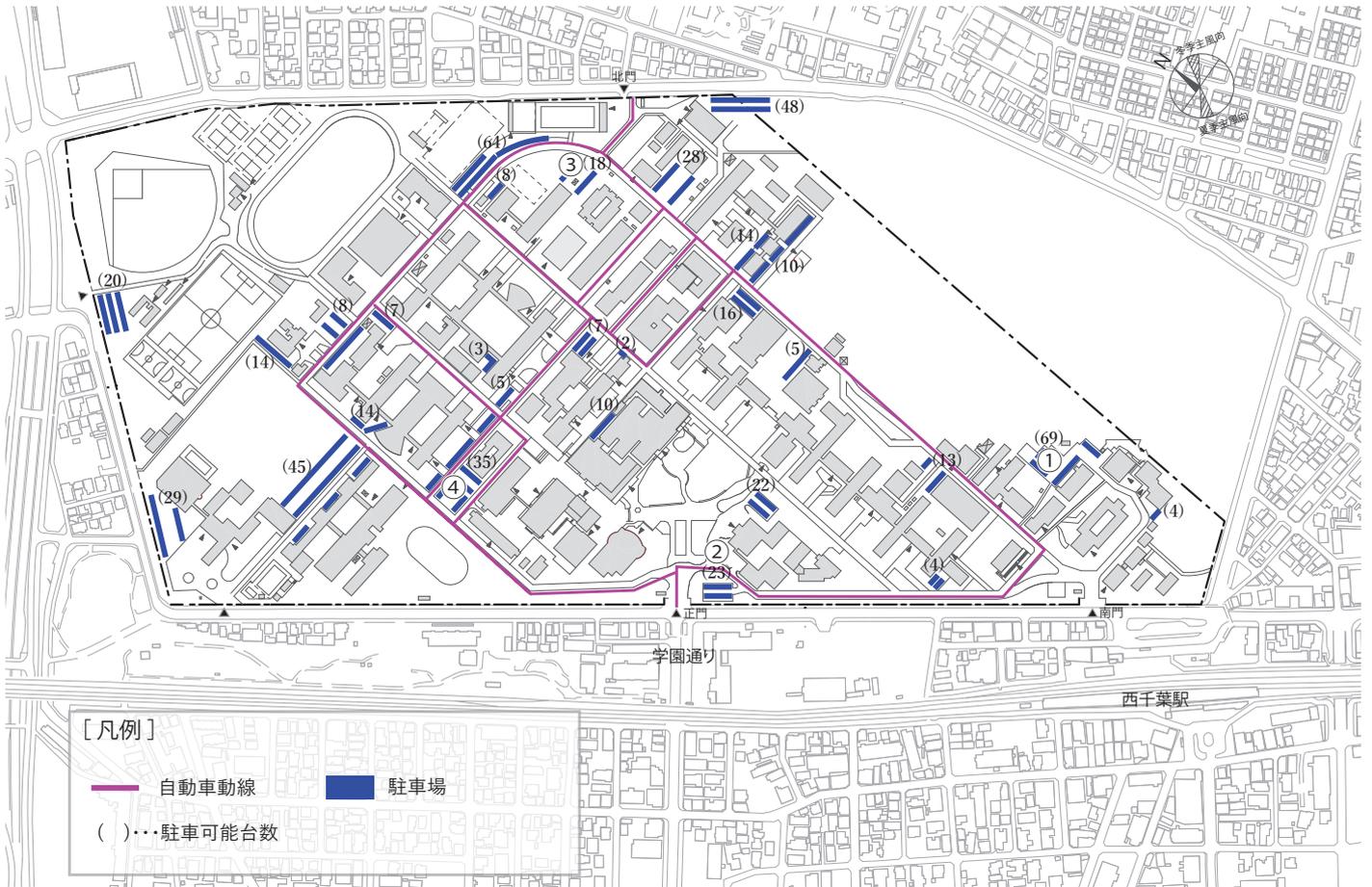
- ・枠外駐輪や放置自転車がも多く、それらを移動した一時保管場所も含めて、安全性や美観の観点から問題となっている。

## ■ 検討の方向

- ・自転車走行禁止ゾーン
- ・外来者用駐輪場の検討(有料 or 無料)



# 02-3 駐車場



駐車場分布図

施設環境部データ集より

## ■ CMP2017 からの変化

- 2017年：交通環境改善経費を改定し、年間の入構許可証（パスカード）の料金の値上げと、臨時入構料金（1日最大500円）を設定した。
- 2019年：やよい通りを自動車進入禁止とし、歩行者レーンと自転車レーンを分離する歩車分離を実施した。

## ■ 現状・課題

- 西千葉キャンパスには計528台分の駐車場があり、全体に分散配置されている。

- 未整備の駐車場があり、空き地が事実上の駐車スペースとなっている箇所もある。
- 塗装が消えかかっている箇所がある。

## ■ 検討の方向

- 車両通行ルートの見直し
- 自動車乗り入れ禁止ゾーン
- 駐車場の再整備



① 工学部駐車場



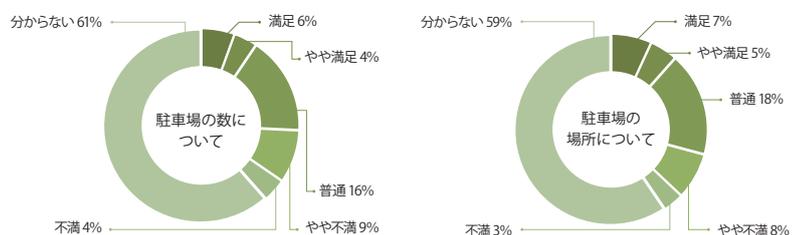
② 正門ゲートバー、駐車券発券機



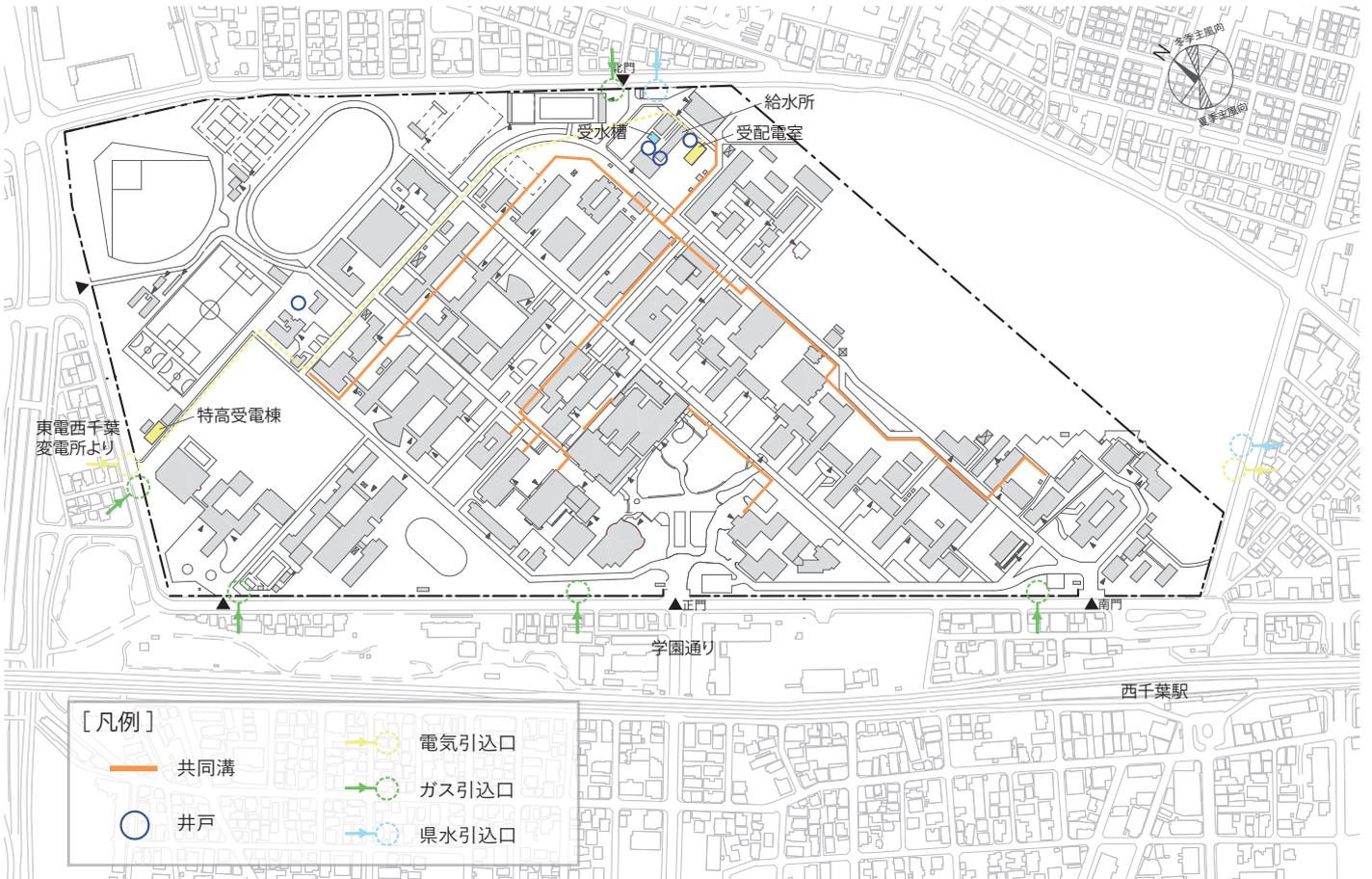
③ 理学部4号館脇駐車場



④ 総合学生支援センター裏駐車場



# 02-4 基幹設備



基幹設備図

施設環境部データ集より

## ■ CMP2017 からの変化

- ・共同溝内の空調用のガス管を撤去し、給水管を設置する工事を行った。  
(2016年～2020年の5か年計画)
- ・給水管、ガス管の老朽改修及び耐震化は2021年に完了した。



給水所



受配電室

## ■ 現状・課題

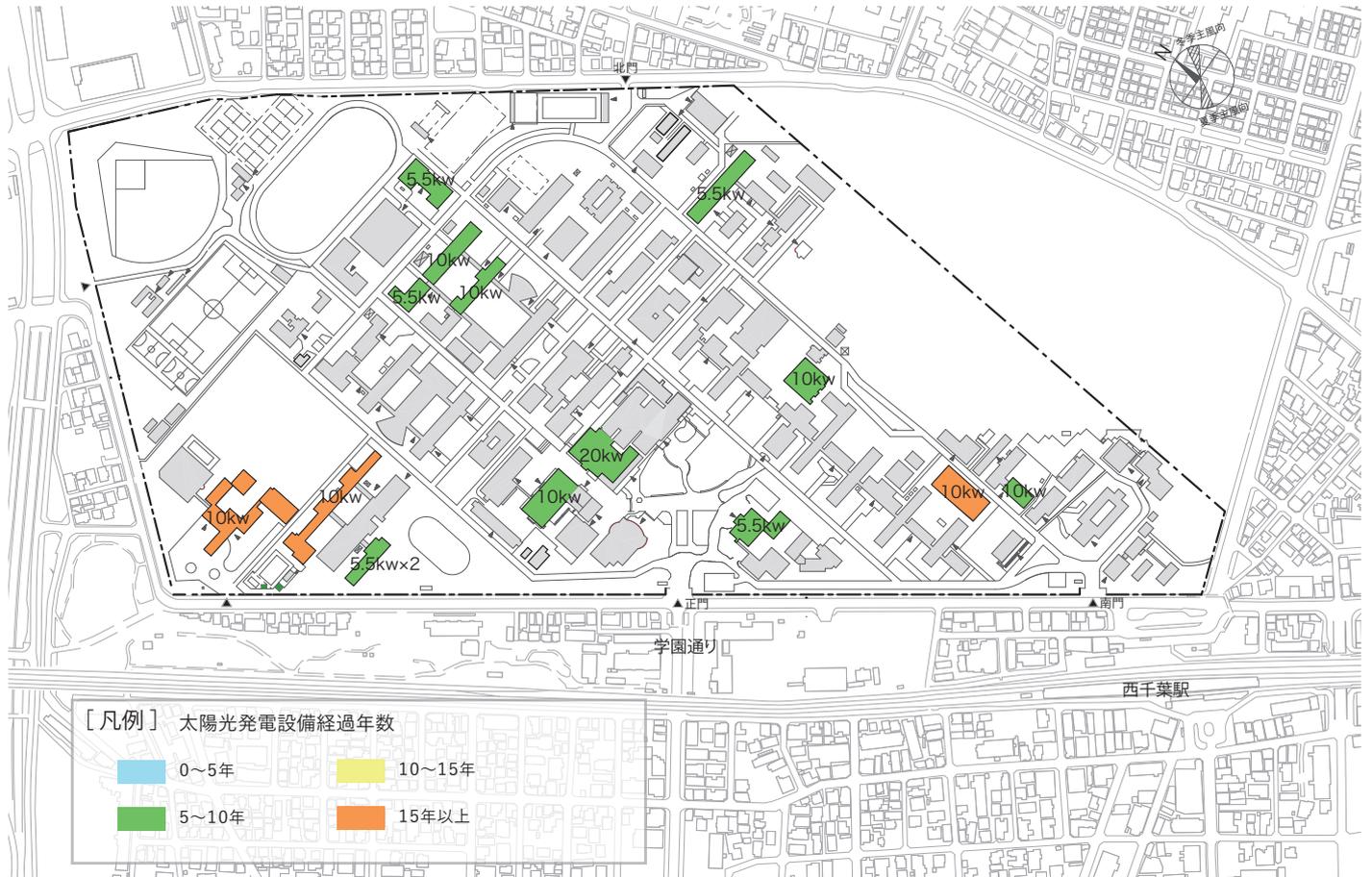
- ・共同溝の設置が一部で、その他の電気、ガス、上下水道のインフラ設備は大地震の発生時には被害を受ける可能性がある。
- ・工学部再開発に合わせて空調用エネルギーをガスから電気に転換することで発生する電気容量の不足を解消する必要がある。

## ■ 検討の方向

- ・維持管理コストの低減を図る共同溝の段階的整備手法
- ・修繕や設置期間と場所など管理の記録のデータ化
- ・災害に強い基幹設備

(表) 基幹設備の現状と検討の方向

	現状	検討の方向
共同溝	スペース的には余裕がある。全ての建物には接続していない。	既存共同溝を利用することを基本とし、再開発計画に応じて増設・変更を行う。
排水	メインルートはほぼ共同溝内である。	現状通りとする。
井水	メインルートはほぼ共同溝内である。	現状通りとする。
ガス	埋設配管である。	現状通りとする。
電力	ほぼ埋設配管である。	再開発計画に合わせて共同溝内移設を行う。



太陽光パネル分布図

施設環境部データ集より

■ CMP2017 からの変化

- ・年間エネルギー消費 (TJ)  
220.0(2016) → 189.8(2020)
- ・年間エネルギー消費量原単位 (MJ/ m<sup>2</sup>)  
891(2016) → 763(2020)
- ・年間 CO<sub>2</sub>排出量 (t)  
10,956(2016) → 9,021(2020)
- ・年間 CO<sub>2</sub>排出量原単位 (t-CO<sub>2</sub> / m<sup>2</sup>)  
44.4(2016) → 36.3(2020)

■ 現状・課題

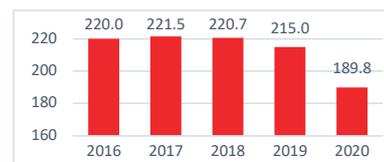
- ・西千葉キャンパスは 2020 年度に年間 189.8TJ のエネルギーを消費しており (図 1)、年間 9,021t の CO<sub>2</sub>を排出している (図 3)。
- ・太陽光発電設備が 14 カ所 133kw 設置されている。

■ 検討の方向

- ・太陽光発電設備など自然エネルギー活用の具体的方策

・ CASBEE 導入

※ CASBEE(Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency) 建築環境総合性能評価システム



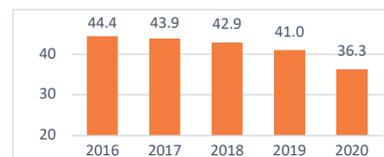
(図 1)  
エネルギー消費量 (TJ)



(図 2)  
エネルギー消費量原単位 (MJ/ m<sup>2</sup>)

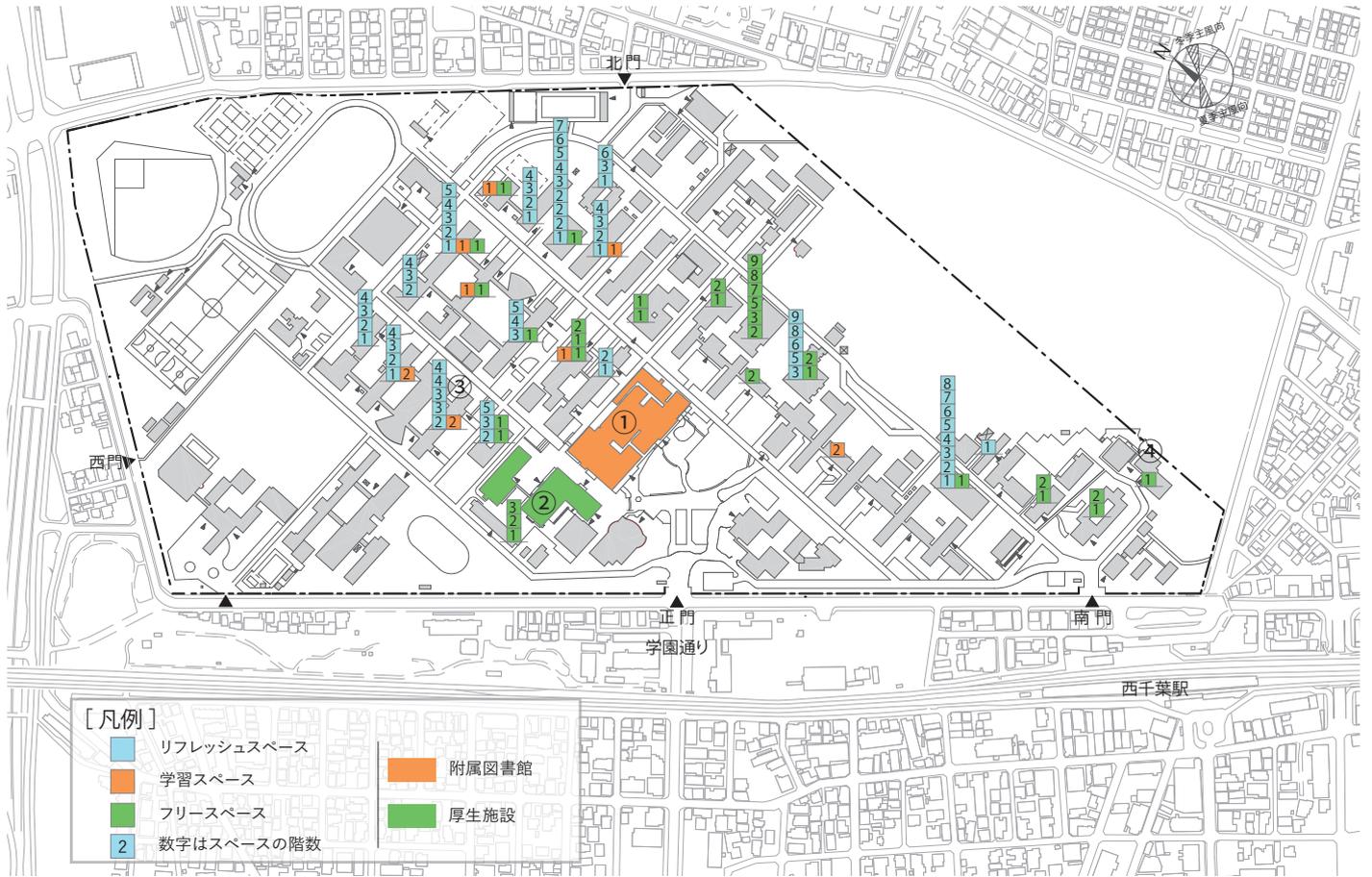


(図 3)  
CO<sub>2</sub>排出量 (t-CO<sub>2</sub>)



(図 4)  
CO<sub>2</sub>排出量原単位 (t-CO<sub>2</sub> / m<sup>2</sup>)

# 03-1 学生スペース・交流スペース



学生・交流スペース分布図

キャンパス整備企画室調査より

## ■ CMP2017 からの変化

- ・IMO 棟の機能改修により産学連携のオープンスペースを整備
- ・学生支援センターの内部改修（ブースを設営）

## ■ 現状・課題

リフレッシュスペース 63 カ所、学習スペースが 8 カ所、フリースペース 32 カ所、附属図書館、学生支援センターがキャンパス内に分散配置されている。アンケートでは約 45% が屋内休憩・交流スペースに不満を感じている。

- ・リフレッシュスペースの配置のバランスがとれていない。

- ・昼休みに講義室で昼食をとる学生が多く講義室等のゴミ問題がある。

## ■ 検討の方向

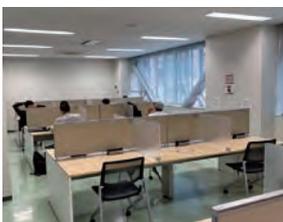
- ・教育、研究施設だけではない学びの場を形成するため、学習スペース、学生や教職員、学外者の交流の場の充実



① 附属図書館



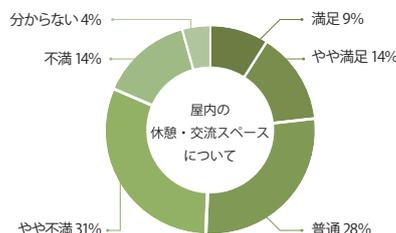
② 総合学生支援センター



③ リフレッシュルーム(総合校舎)



④ IMO 棟オープンスペース



# 03-2 広場・オープンスペース



広場・オープンスペース分布図

キャンパス整備企画室調査より

## ■ CMP2017 からの変化

- 2016 年松韻会館の改修により屋外オープンスペースが生まれた。

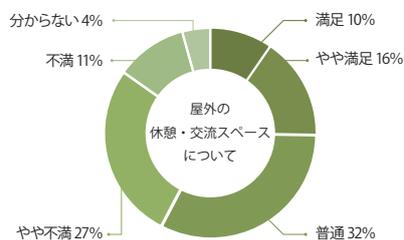
- コミュニケーション広場の整備実現
- 松韻会館前のオープンスペースの活用方法
- 屋外家具の設置検討
- 中庭や屋上などの屋外空間の整備

## ■ 現状・課題

広場はかたらいの森、総合校舎中庭等があり、ベンチが 31 カ所ある。  
 アメニティアンケートでは約 38% が屋外休憩スペースに不満を感じている。

## ■ 検討の方向

- アプローチ（門）の直近に広場を配置



① 総合校舎中庭



② 松韻会館



③ かたらいの森と屋外家具



④ 中庭 (工学部 1 号棟)

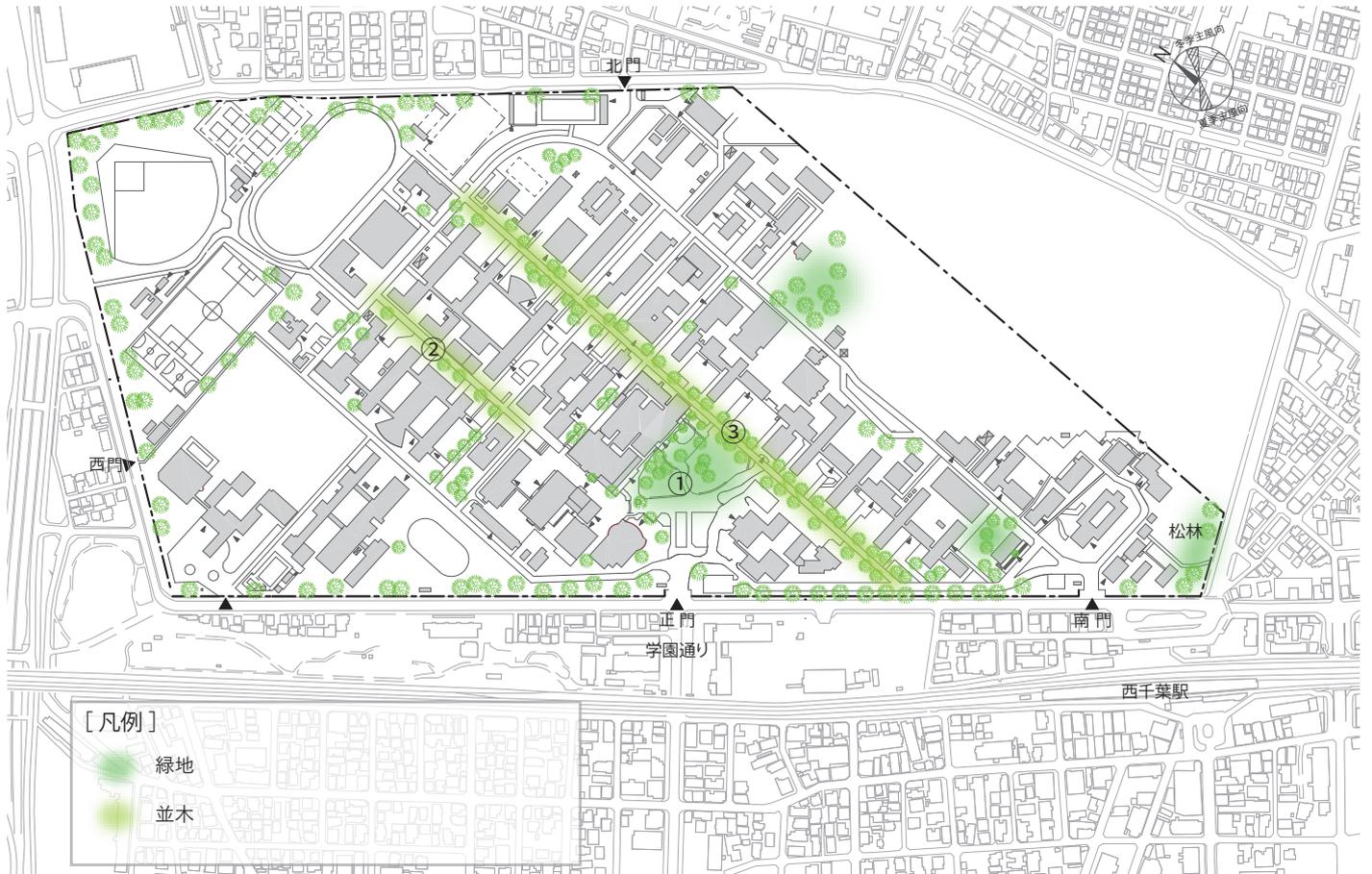


⑤ コミュニケーション広場



⑥ 附属図書館屋上

# 03-3 樹木・緑地



樹木・緑地分布図

キャンパス整備企画室調査より

## ■ CMP2017 からの変化

- ・2016年松韻会館の改修と周辺整備により緑地が変更された。
- ・記念樹の植樹はCP室と施設環境部による事前確認が必要となった。(H25.10.7～)

## ■ 現状・課題

西千葉キャンパスの樹木・緑地は豊かであり、かたらいの森、けやき並木、桜並木、薬草園などのランドスケープ資源がある。

- ・西千葉キャンパスのアメニティアンケートでは樹木の量・緑地に関する満足度が2017年に比べても上がり満足度も高い。

- ・現在緑地になっている箇所が十分に管理されていない。
- ・樹木、緑地の十分な管理計画がとられていない。

## ■ 検討の方向

- ・緑化環境（屋外環境・ランドスケープ整備）計画
- ・樹木、緑地の維持管理計画（指針）
- ・松韻会館と南門の間の緑地整備



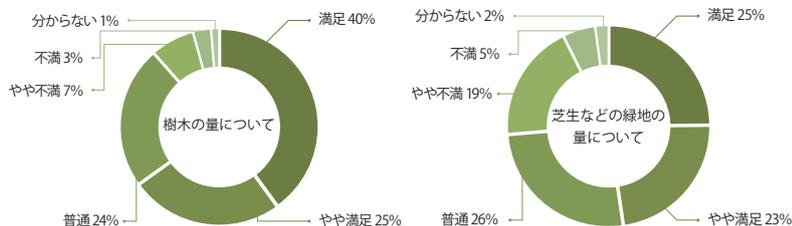
① かたらいの森



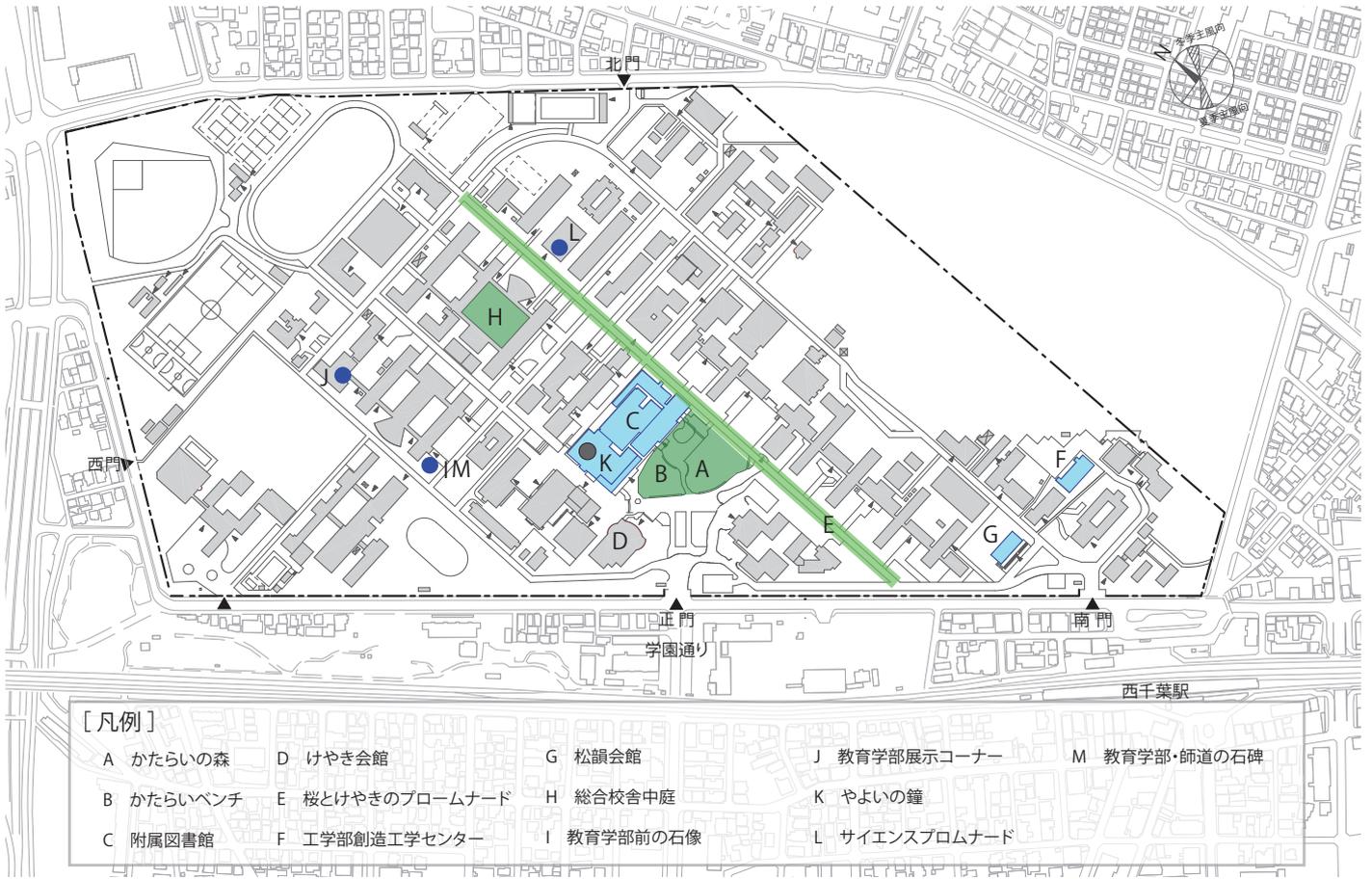
② けやき通り



③ やよい通り



# 03-4 シンボル・歴史資源



シンボル・歴史資源分布図

キャンパス整備企画室調査より

## ■ CMP2017 からの変化

- 千葉大学ホームページにて「やよいの鐘」等、西千葉キャンパスのシンボルとなりえるものについて認知活動を行っている
- 薬学部の移転に合わせて、薬学部棟旧校舎屋根飾りも移設した。

## ■ 現状・課題

西千葉キャンパスは、建築物等の歴史資源に乏しい。

- シンボルとなるものが少ない
- やよいの鐘のシンボル性を十分に活かし切れていない

## ■ 検討の方向

- 歴史資源を活用したキャンパス整備
- シンボリックなもの（ランドスケープ、アイキャッチ等）



A かたらいの森



E 桜とけやきのプロムナード

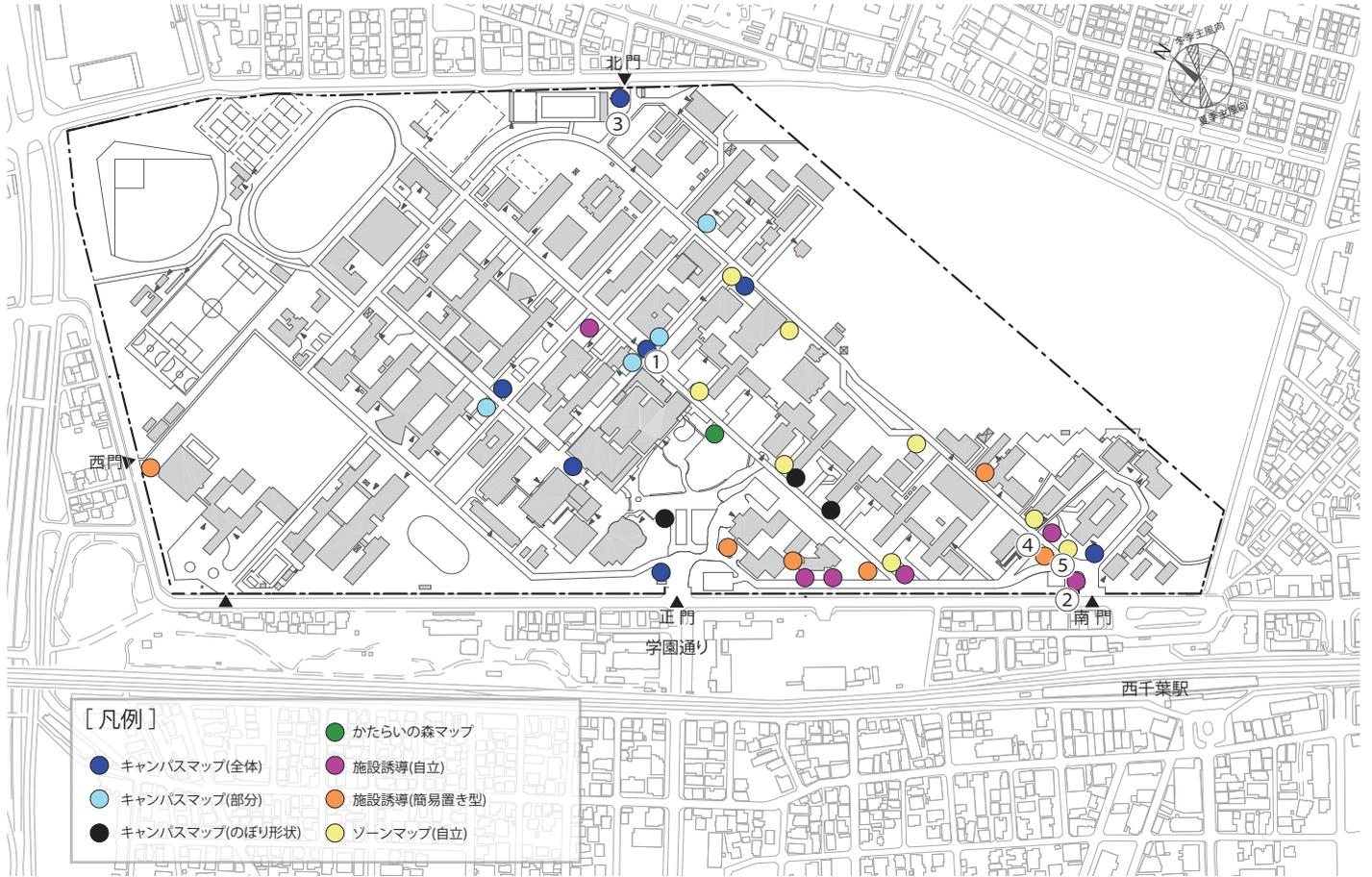


C 附属図書館



K やよいの鐘

# 03-5 サイン・情報掲示



サインマップ

キャンパス整備企画室調査より

## ■ CMP2017 からの変化

- ・2014年西千葉キャンパスの既存サインの現状と課題まとめ今後の指針となる資料作成を行った。

インフォメーションセンターを松韻会館1階に設置している。未だ不満度が32%あり、今後の改善が必要。

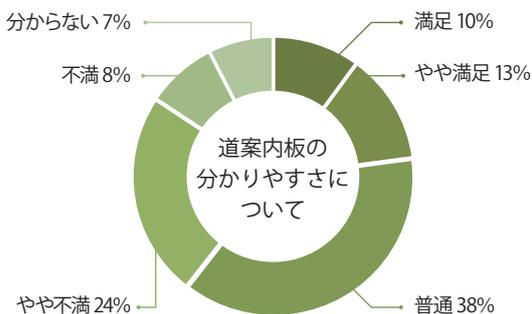
## ■ 現状・課題

平成27年度より段階的に整備を行っている。キャンパス全体マップは、正門、南門、北門、他計7か所に設置されている。

国際化に対応した2か国語表記でサインの再整備を行っている。

## ■ 検討の方向

- ・情報発信のための掲示手法（看板等）のあり方
- ・動線計画見直しの交通サインへ反映



① のぼり形状の総合案内



② 施設誘導



③ 2か国語表記の総合案内

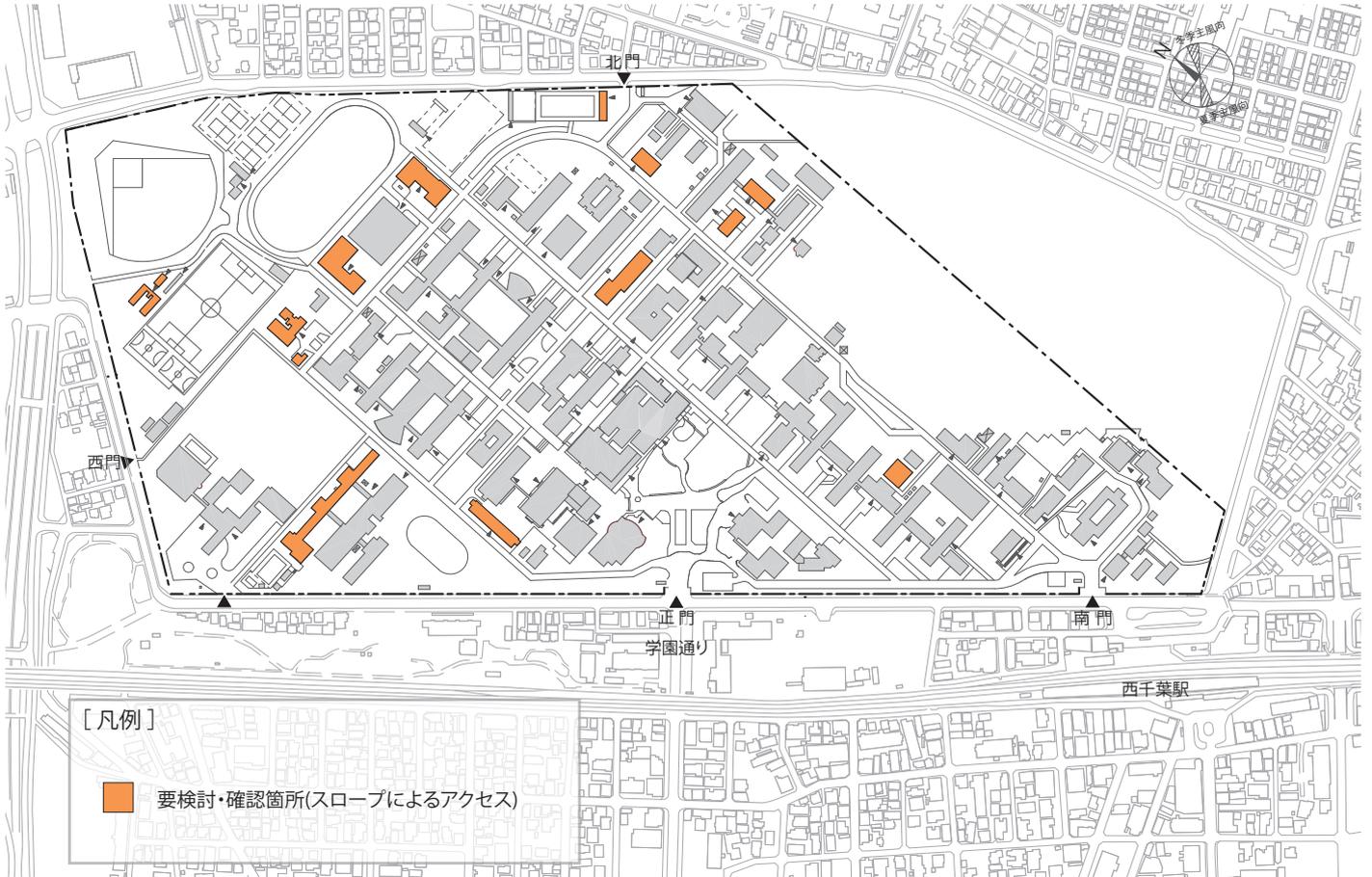


④ 建物名称



⑤ 情報掲示

# 04-1 バリアフリー



バリアフリーマップ

施設環境部調査より

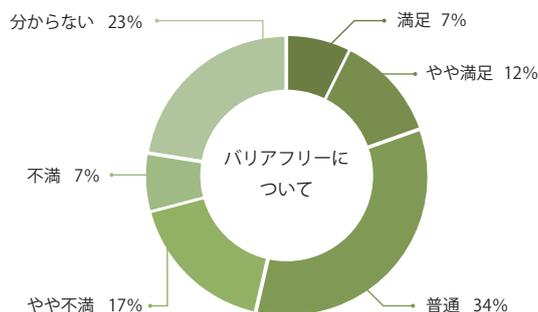
## ■ CMP2017 からの変化

- ・満足度 22.9% (2016) → 19%(2021)

## ■ 現状・課題

西千葉キャンパスでは、身障者エレベーター、身障者トイレ、スロープの整備を推進中である。

- ・バリアフリー整備を推進中であるが、十分ではない。
- ・単なる斜路を設けただけの不適切な整備も見られる。
- ・車椅子利用者にとって、段差や動線の未確保、扉の形状や扉の重量がバリアとなり、学内移動や活動を制限している。



## ■ 検討の方向

- ・バリアを解消する整備手法（細かな段差の解消・点状ブロック設置など）
- ・ユニバーサルデザイン



スロープ+点状ブロック



身障者用駐車スペース



スロープ(点状ブロックなし)

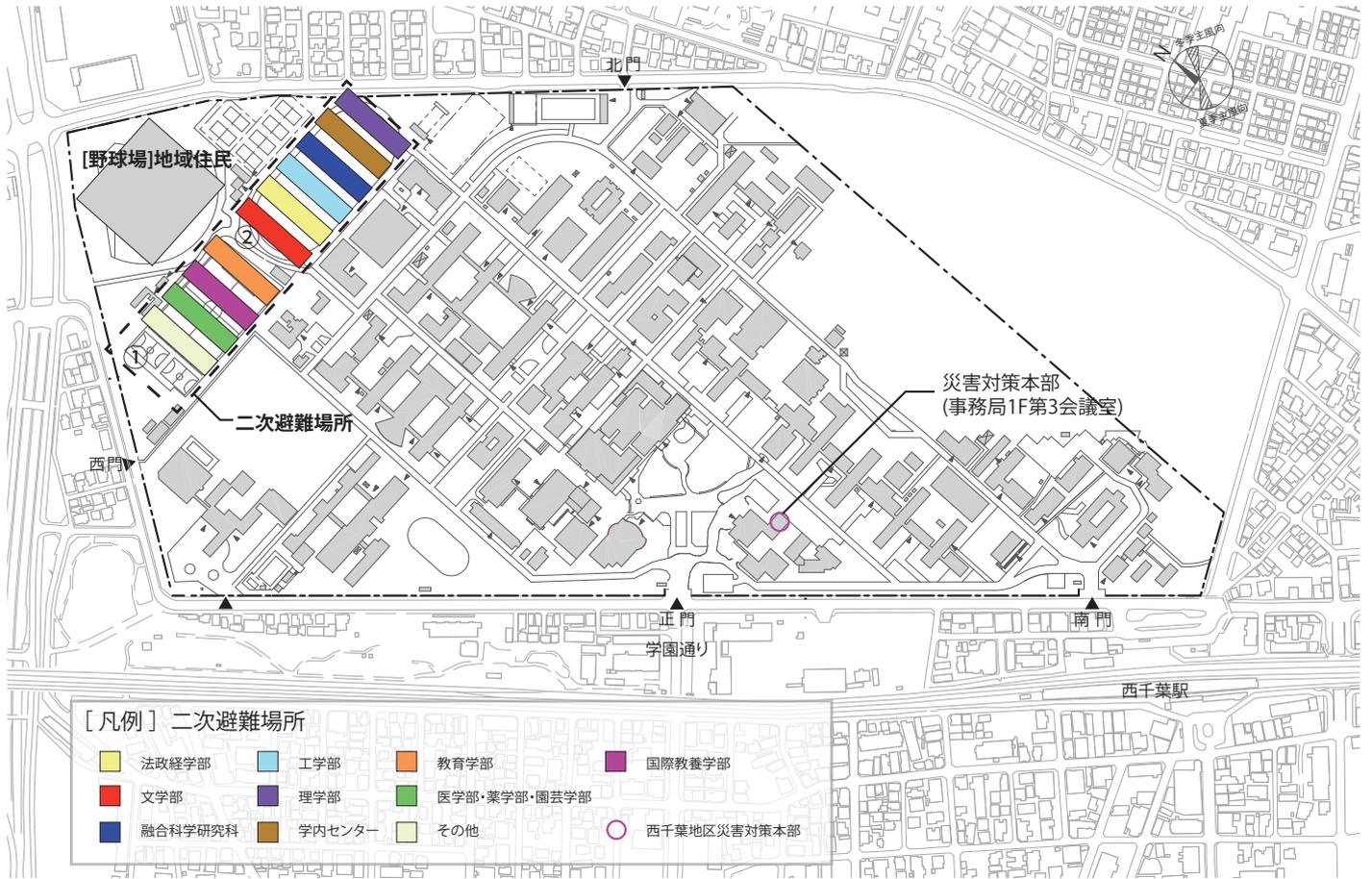


身障者用EV



身障者用トイレ

# 04-2 避難場所



避難所マップ

千葉大学防災のしおりより

## ■ CMP2017 からの変化

## ■ 現状・課題

西千葉キャンパスは、千葉市の広域避難場所に指定されている。「千葉大学震災対策要綱」において二次避難場所としてキャンパス北側の陸上競技場・サッカー場が指定されている。

## ■ 検討の方向

- ・災害時の拠点（構成員用備蓄等を含む）



① 二次避難場所  
(サッカー場)

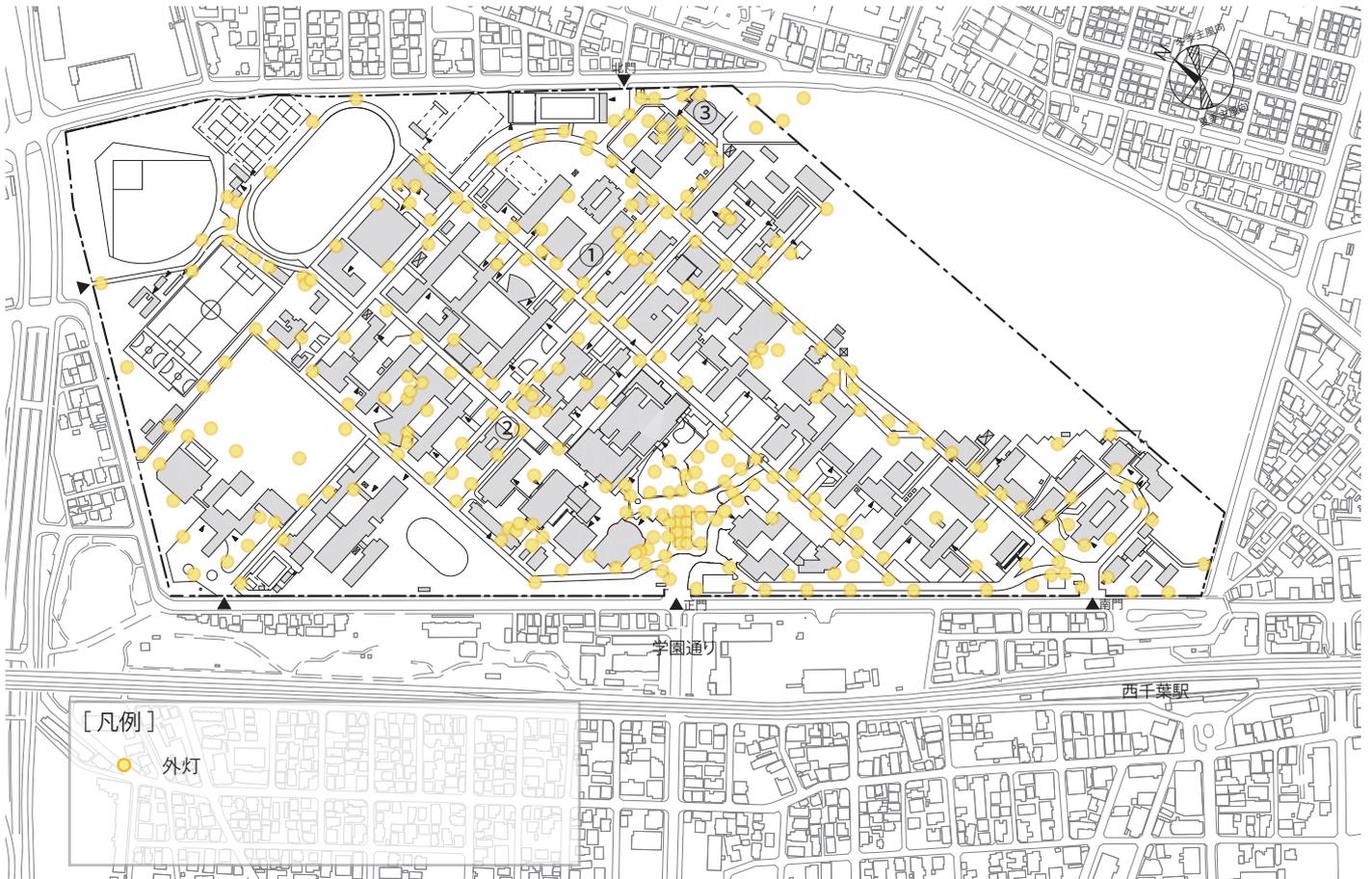


② 二次避難場所  
(陸上競技場)



広域避難場所サイン

# 04-3 外灯



外灯分布図

施設環境部データ集より

## ■ CMP2017 からの変化

- ・外灯に関する満足度  
21.9%(2016) → 22.8%(2021)

## ■ 現状・課題

主要な道路の外灯、照度は比較的十分であるが、教育学部音楽棟付近など一部に暗がりが生じている部分がある。

外部空間の照度を調査し、外部照明計画により安全性の確保を推進している。

## ■ 検討の方向

- ・外灯の増設



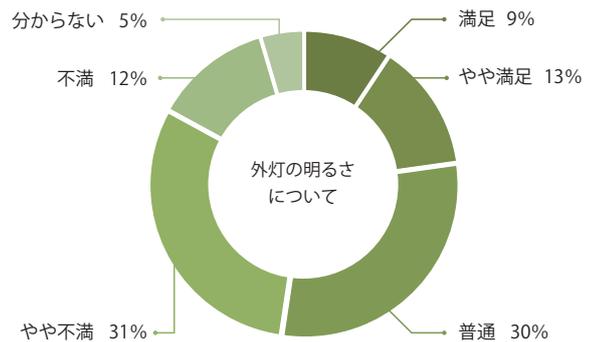
① 理学部 1 号館



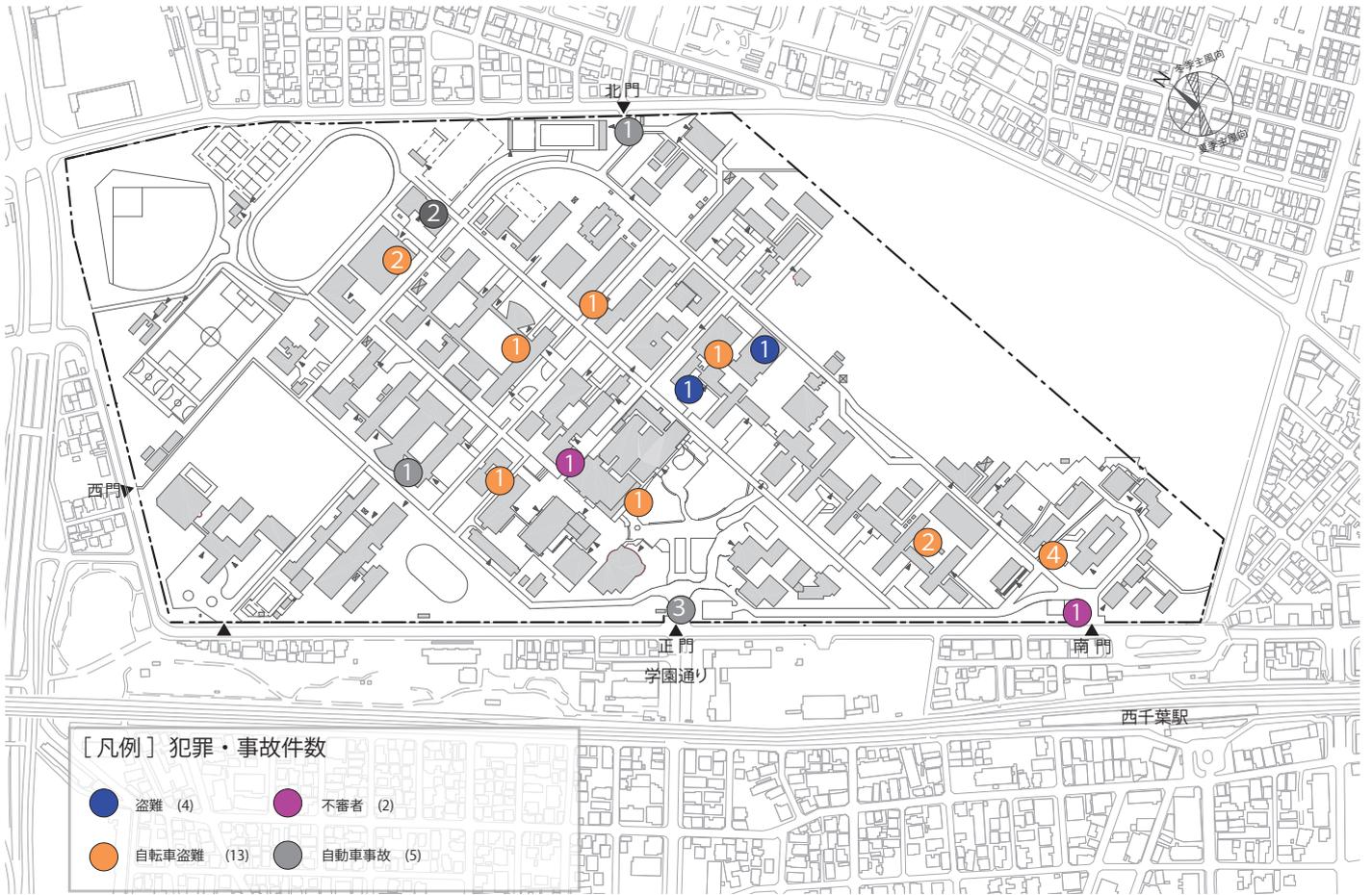
② 文学部・法政経学部 3 号館



③ サイエンスパークセンター



# 04-4 犯罪・事故



犯罪・事故発生場所分布図

犯罪・事故等の記録資料より  
2019年度および2020年度

## CMP2017 からの変化

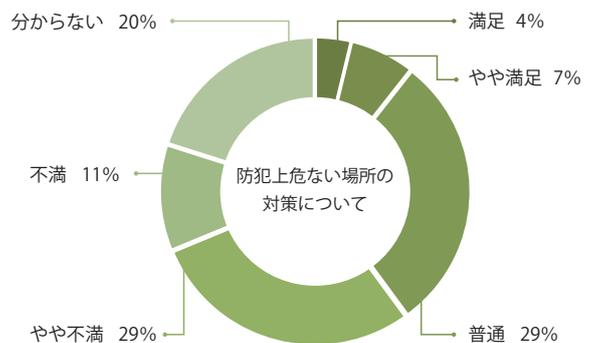
- ・ 犯罪数は減少
- ・ 交通事故は減少
- ・ 満足度は2017年からほぼ変わらず。  
10.8%(2016) → 10.6%(2021)

## 現状・課題

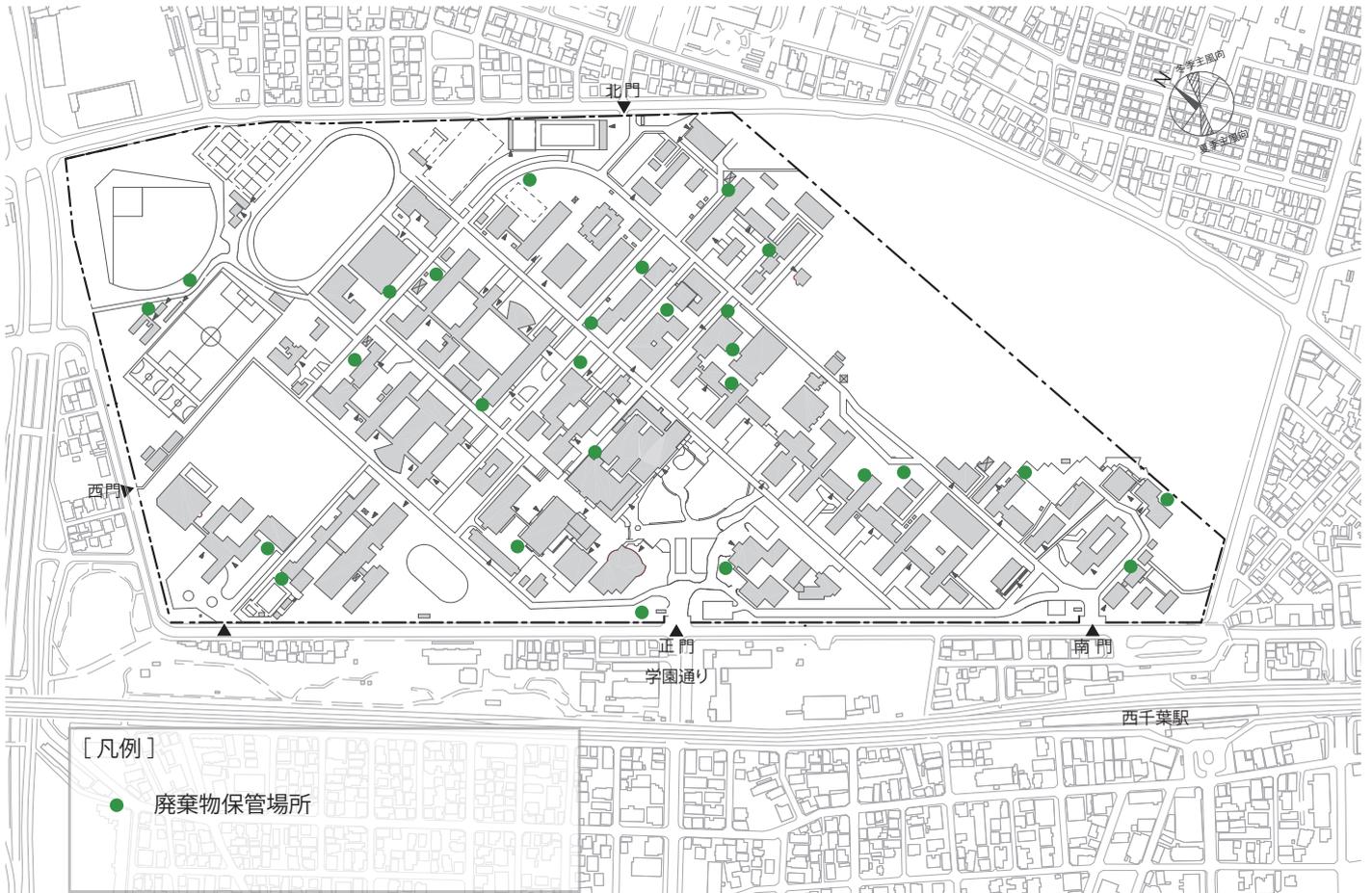
西千葉キャンパスでは、17件の犯罪、5件の交通事故が発生しており（令和2年度）犯罪数、交通事故は共に減少（平成31年度比較）している。犯罪のうち最も多いのは自転車盗難13件で、キャンパス内の自転車置き場所に関係なく発生している。アメニティアンケートでは不満度が40%と高く、引き続き対策を考慮する必要がある。

## 検討の方向

- ・ 建物セキュリティ確保のための標準仕様の策定



# 04-5 廃棄物



廃棄物保管場所分布図

施設総務係資料より

## ■ CMP2017 からの変化

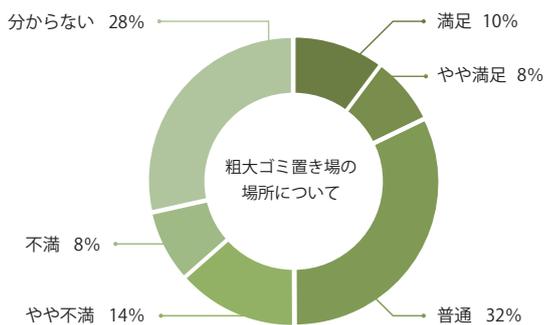
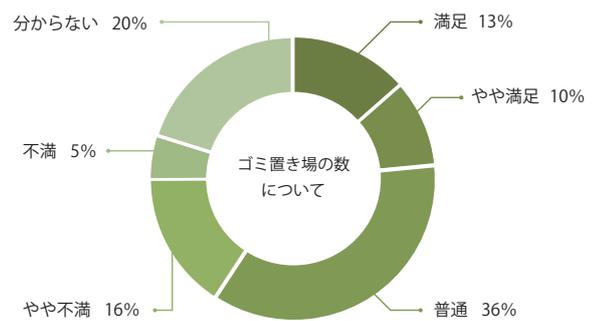
- ・ ゴミ置き場の場所の数についての不満度  
16.5%(2016) → 21%(2021)
- ・ 粗大ゴミ置き場についての不満度  
15.3%(2016) → 22%(2021)

## ■ 現状・課題

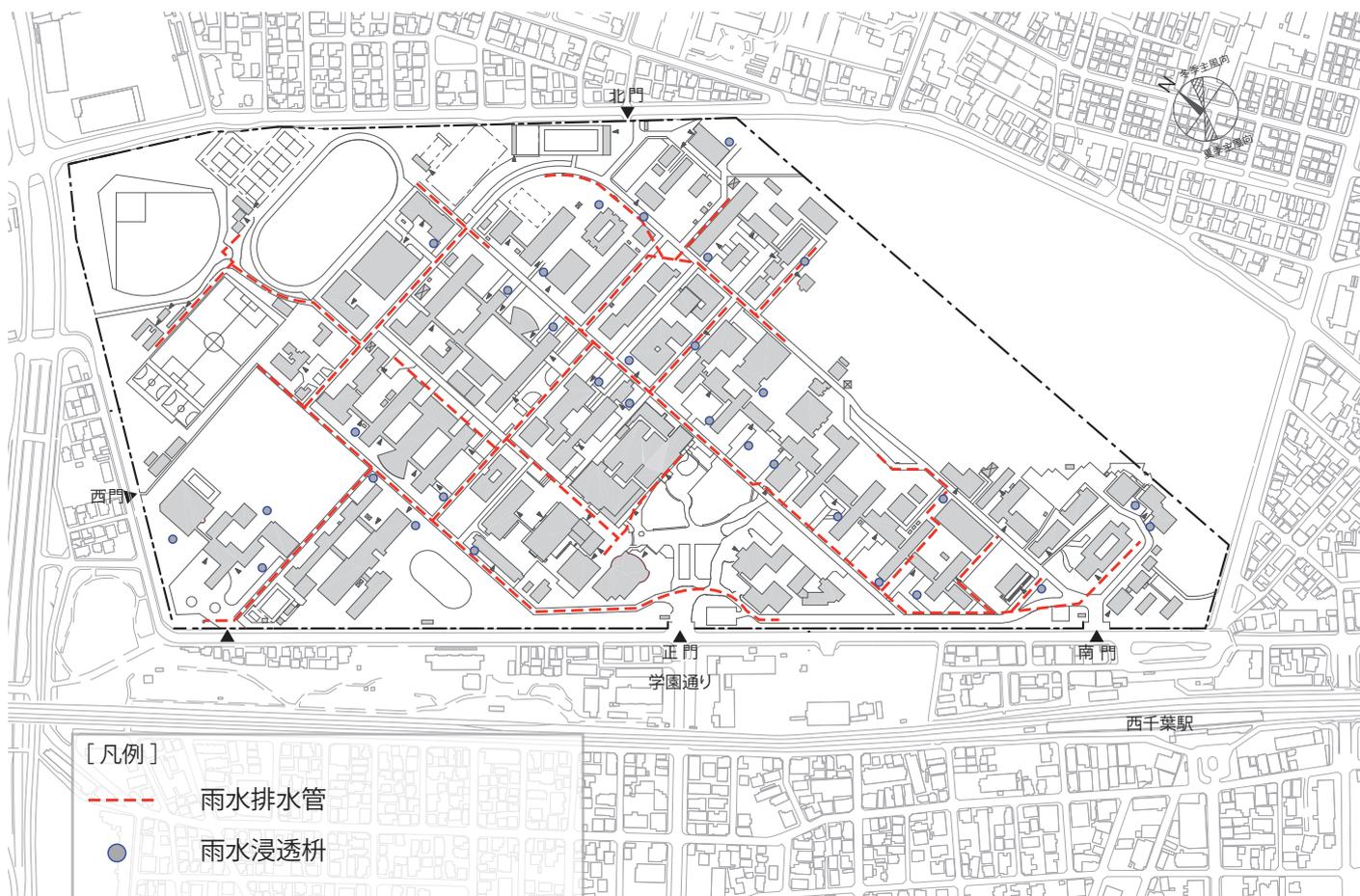
西千葉キャンパスでは、各部局にて、可燃ゴミ・資源物・有害ゴミ・紙ゴミ等に分別し収集している。また、総合安全衛生管理機構環境安全部にて、実験廃液等の収集一括処理（年5回）を行っている。

## ■ 検討の方向

分別の徹底



# 04-6 都市型豪雨



雨水・排水経路図

施設環境部データより

## ■ CMP2017 からの変化

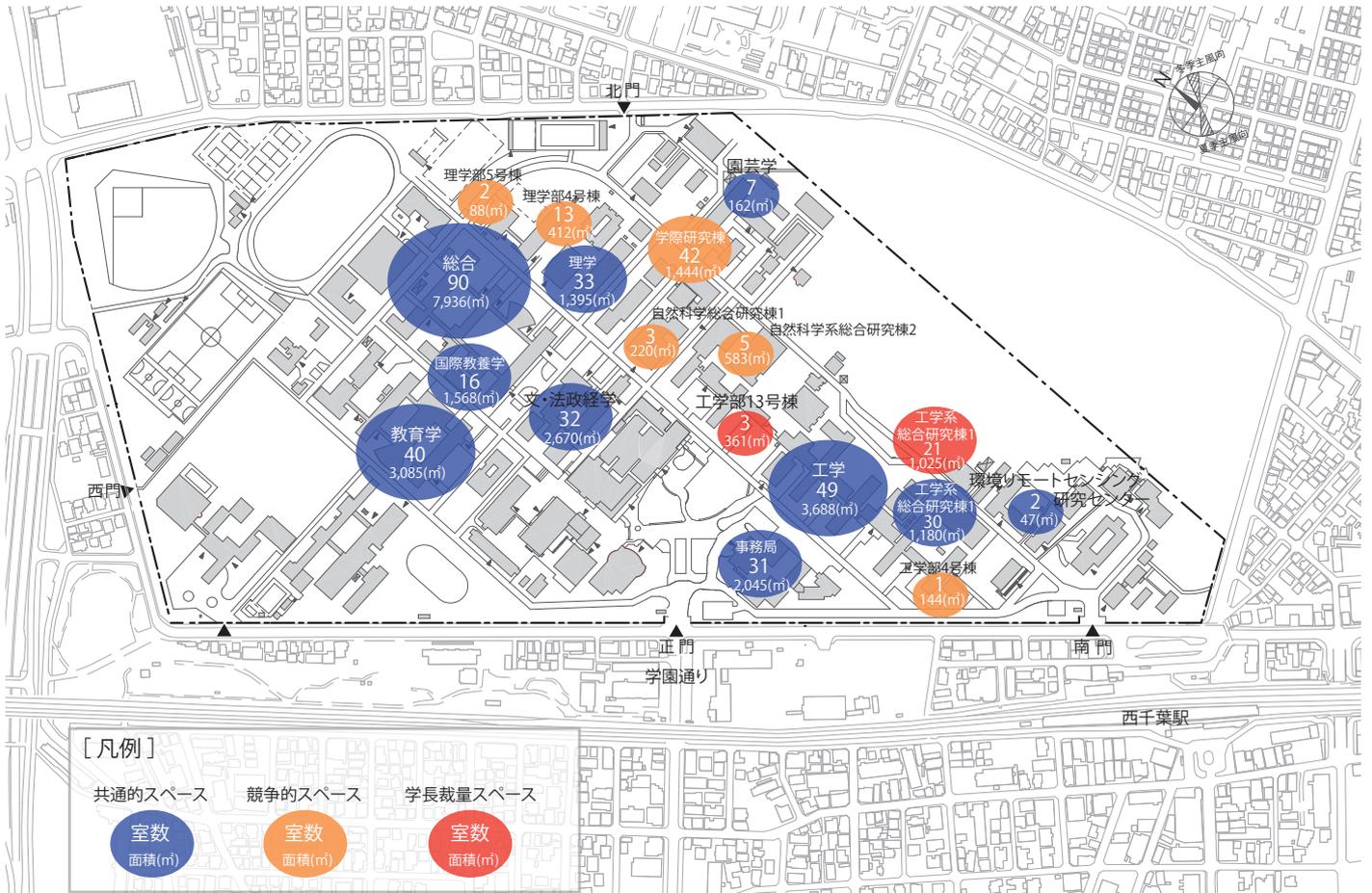
## ■ 現状・課題

西千葉キャンパスでは、千葉市水道局による敷地内の浸透枡の設置（32 か所）が進み、都市型豪雨による大きな被害はなく、周辺地域への雨水の流れ出しもない。

## ■ 検討の方向

- ・ 雨水排水系の強化
- ・ 水はけの悪い箇所の把握と改善

# 05-1 全学共同利用スペース



全学共同利用スペース分布図

施設環境部データより

## ■ CMP2017 からの変化

- 全学で共同利用するスペースの変化  
合計 35,567 m<sup>2</sup> (2017年) → 合計 30,332 m<sup>2</sup> (2021年)

## ■ 現状・課題

全学で共同利用するスペースは以下の3つのスペースとなっており、内訳は、  
 共通スペース 30,131 m<sup>2</sup> (2017年) → 合計 22,606 m<sup>2</sup> (2021年)  
 競争的スペース 4,227 m<sup>2</sup> (2017年) → 合計 6,288 m<sup>2</sup> (2021年)  
 学長裁量スペース 1,209 m<sup>2</sup> (2017年) → 合計 1,438 m<sup>2</sup> (2021年)  
 となっている。

## ■ 検討の方向

- ファシリティマネジメント推進とスペースの有効利用
- 施設管理体制の見直し
- 競争的スペースの集約化

# 05-2 学生寮



施設環境部データより

## ■ CMP2017 からの変化

東大生産研跡地の取得に伴い、ゲストハウスの廃止

## ■ 現状・課題

西千葉キャンパス近傍の学生寮は小仲台にあり、薫風寮（定員 170 名）がある。学部の 1・2 年次の学生が入寮対象者である。

- ・稼働率が低い。
- ・研究者用ゲストハウスが少ない。
- ・キャンパスと学生宿舎の距離は 2 km 程度である。

## ■ 検討の方向

- ・自己保有や民間施設借り上げなどを含めた住居系施設の整備のあり方
- ・職員宿舎用地の売却及び活用方法



薫風寮